

4 2015年度予算の主な事業

新5カ年計画の重点事業及び主要事業(※)を中心に分野ごとにまとめています。

※主要事業:「新5カ年計画」策定後の社会情勢の変化などに対応するための事業(☆:重点事業及び主要事業)

子育て支援・子育て環境の充実

☆子ども・子育て支援新制度 135億3,561万円 (22ページ)

幼児期の教育や保育、地域の様々な子育て支援の量の拡充や質の向上を進め、保育所の待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にします。

☆待機児童解消対策事業 4億6,380万円 (23ページ)

民間保育所や認定こども園の整備支援等により定員増を図ります。

☆(仮称)町田地区子どもセンター整備事業 4億6,764万円 (24ページ)

2016年度の(仮称)町田地区子どもセンター開館に向け、整備を進めます。

☆学童保育クラブ整備事業 7,078万円 (25ページ)

金森第二学童保育クラブ、鶴間ひまわり学童保育クラブの増築等により、保育環境を改善します。

☆冒険遊び場補助事業 883万円 (26ページ)

市民・地域・行政のパートナーシップにより、常設の冒険遊び場を新たに設置します。

幼稚園長時間預かり保育事業 1,865万円 (27ページ)

幼稚園に通う児童のために、長時間の預かり保育を実施する幼稚園に補助金を交付します。

オリンピック・パラリンピックキャンプ地等招致に向けた取り組み

☆オリンピック・パラリンピックキャンプ地等招致事業 402万円 (28ページ)

子どもたちに夢や希望を与えるとともに、市のブランド力の向上等を目指します。

☆野津田公園整備事業 2,382万円 (29ページ)

第二次野津田公園整備基本計画に基づき、拡張区域(多目的グラウンド等)の都市計画決定をします。

☆小野路球場夜間照明施設整備事業 2,925万円 (30ページ)

スポーツを「する」機会と「観る」機会を提供するために、夜間照明整備に向けた設計を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

災害対策の充実

☆防災・災害対策事業 3億2,237万円 (31ページ)

・防災行政無線デジタル化事業

既存の防災行政無線を順次デジタル化するとともに子局の増設などを行い、2013年から2017年の5カ年で防災行政無線の再構築を進めます。

・自主防災組織への支援

スタンドパイプ購入補助金で自主防災組織を支援します。

・防災情報設備の充実

消防団に消防救急デジタル無線受令機を配備します。

《参考》

・境川における調節池整備（東京都事業）

東京都は境川の治水対策として、西田スポーツ広場（金森6丁目市有地）の地下部分に調節池を整備する準備を進めています。町田市も東京都に協力し、早期完成を目指します。

☆緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 5億293万円 (32ページ)

「緊急輸送道路」の沿道建築物の耐震化を促進します。

☆住宅耐震促進事業 4,381万円 (33ページ)

木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援し、住宅の耐震化を促進します。

☆污水管渠地震対策事業 3億1,430万円 (34ページ)

污水管の耐震化、避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。

☆雨水管渠整備事業 5億1,220万円 (35ページ)

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。

市民病院自家発電設備更新事業

（病院事業会計）

3億9,087万円 (36ページ)

災害拠点病院の機能充実として、大災害発生時においても、病院内で使用する医療機器の電力を賄うことができる自家発電設備に更新します。

☆小・中学校防災機能強化事業 6億2,590万円 (37ページ)

小学校体育館及び中学校プールの非構造部材耐震補強工事を実施します。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

小・中学校の環境改善

- ☆**鶴川第一小学校改築事業** **19億2,497万円** (38ページ)
鶴川第一小学校改築の校舎棟改築工事(2年度目)を実施します。
- ☆**小・中学校トイレ改修事業** **4億3,413万円** (40ページ)
使いやすく、明るい、安心できる空間にするため、小学校3校のトイレ改修工事を実施します。
- ☆**小・中学校防災機能強化事業(再掲)** **6億2,590万円** (37ページ)
小学校体育館及び中学校プールの非構造部材耐震補強工事を実施します。
- ☆**小・中学校施設防音事業** **6億9,866万円** (41ページ)
航空機騒音による影響を防止・軽減するため、小・中学校の防音工事を実施します。
- ☆**小学校通学路防犯カメラ整備事業** **2,438万円** (42ページ)
児童・生徒が安全に通学できるようにするため、小学校の通学路に防犯カメラを整備します。
- 小学校図書室空調設置事業** **390万円** (43ページ)
静かな読書空間を作るため、小学校3校の図書室に空調を設置します。これにより、全ての小・中学校における図書室の空調設置が完了します。



地域センターの整備

- ☆**忠生市民センター建替事業** **7,745万円** (44ページ)
乳幼児健診施設が4月、忠生図書館が5月にオープンします。
- ☆**成瀬コミュニティセンター建替事業** **2億1,359万円** (45ページ)
成瀬コミュニティセンターを建替え・改修します。
- ☆**玉川学園コミュニティセンター建替・玉川学園前駅周辺整備事業** **7,522万円** (46ページ)
玉川学園コミュニティセンターのあり方を地域住民とともに検討し、建替えを進めます。また、玉川学園前駅とコミュニティセンターを結ぶデッキの検討を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

みんなが支え合うまちづくり

☆重度障がい者通所施設整備事業 3億2,882万円 (47ページ)

医療的ケアを必要とする重度障がい者が子どもから大人まで一貫して通所できる、多機能型施設を整備します。

臨時福祉給付金給付事業 5億946万円 (48ページ)

消費税増税に伴う低所得者の負担緩和等を目的として、臨時福祉給付金を支給します。

子育て世帯臨時特例給付金給付事業 2億4,736万円 (49ページ)

消費税増税に伴う子育て世帯の負担緩和等を目的として、子育て世帯臨時特例給付金を支給します。

第6期町田市介護保険事業計画 (50ページ)

「地域包括ケアシステム」の推進を目的とする第6期町田市介護保険事業計画(2015～2017年度)を策定します。

鉄道延伸に向けた取り組み

☆多摩都市モノレール延伸促進事業 5,122万円 (51ページ)

多摩都市モノレールの延伸を検討します。また、導入路線及びそれに接道する都市計画道路の測量・設計等を行います。

☆小田急多摩線延伸促進事業 1,000万円 (52ページ)

小田急多摩線の延伸を検討します。

小山田周辺まちづくり事業 540万円 (53ページ)

鉄道延伸に伴う新駅構想、忠生579・630号線の道路整備等を踏まえ、小山田周辺まちづくり構想を策定します。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

賑わいのあるまちづくり

- ☆**町田薬師池公園四季彩の杜整備事業** **8億6,236万円** (54ページ)
薬師池の水質浄化を図るため、かいぼり等を行い、また、薬師池公園四季彩の杜を整備するため用地買収等を進めます。
- ☆**中心市街地整備事業** **2,481万円** (55ページ)
中心市街地の魅力を向上させるため、中心市街地整備計画を策定するとともに、土地利用制度の導入を検討します。
- ☆**芹ヶ谷公園整備事業・**
(仮称)国際工芸美術館整備事業 **7,596万円** (56ページ)
芹ヶ谷公園再整備のための基本計画を策定します。また、芹ヶ谷公園内に(仮称)国際工芸美術館を整備するため、基本設計を行います。
- ☆**高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業** **1,147万円** (57ページ)
高ヶ坂縄文時代遺跡公園を整備するための実施設計等を行います。
- ☆**地域学校開放推進事業** **7,253万円** (58ページ)
地域スポーツクラブの拠点となるクラブハウスを整備します。
- ☆**にぎわい空間創出推進事業(町田シバヒロ)** **6,388万円** (59ページ)
市庁舎跡地を芝生広場として活用し、イベント開催や一般開放をすることで、新たなにぎわいの創出を図ります。
- ☆**文化芸術ホール整備事業** **499万円** (60ページ)
文化芸術ホールについて、基本構想検討委員会を開催します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

暮らしやすいまちづくり

- ☆循環型施設整備事業 **4億5,944万円** (61ページ)
循環型社会の形成に向け、ごみの資源化施設の整備を進めます。
- ☆都市計画道路整備事業 **11億3,982万円** (64ページ)
都市計画道路や相原駅西口の駅前広場を整備します。
- ☆南町田駅周辺地区拠点整備事業・
南町田駅南北自由通路整備事業 **9,976万円** (66ページ)
南町田駅周辺の拠点づくりに向けて、実施計画を策定するとともに、自由通路の設計を行います。
- ☆忠生579号線・忠生630号線新設改良事業 **7億5,159万円** (68ページ)
円滑な通行のため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。
- 多摩境駅周辺エレベーター設置事業 **900万円** (69ページ)
誰もが円滑に移動できるように、多摩境駅のエレベーター設置へ向けた設計を行います。
- 社会保障・税番号制度事業 **3億5,853万円** (70ページ)
市民の利便性の向上を図るため、個人番号を通知し、希望の方には個人番号カードを交付するとともに、お問い合わせに対応するコールセンターを開設します。また、社会保障・税番号制度事業に対応するため、システムを改修します。
- ☆鶴川駅周辺街づくり事業 **689万円** (72ページ)
鶴川駅周辺の魅力を向上させるため、鶴川駅前広場や周辺の土地利用など具体的な整備内容の検討を進めます。
- ☆団地再生推進事業 **980万円** (73ページ)
鶴川団地について、具体的なアクションプランを実施し、鶴川団地における再生方針を策定します。
- ☆北部丘陵整備事業 **4,575万円** (74ページ)
北部丘陵の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件名		子ども・子育て支援新制度				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,535,609		2,174,188	3,525,311	0	1,614,665	6,221,445

Ⅱ 部・局別予算概要 282・283・321・323・324・326～329・332・339 ページ

【事業の背景・目的】

幼児期の教育や保育、地域の子育て支援の充実を進めていくため、「子ども・子育て支援新制度」が2015年4月に全国の市町村で始まります。

新制度では、町田市が子育てを今後どのように支援していくかの指針となる「町田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育・保育施設等を充実させていきます。施設整備を計画的に進め、子どものための教育・保育給付を行い、地域子ども・子育て支援事業を実施します。

【事業の内容】

■新制度で創設される「施設型(地域型)給付」の仕組み

現在、保育所等に対する財政措置として、保育所は委託運営費、幼稚園は私学助成・幼稚園就園奨励費、認定こども園には保育所部分と幼稚園部分それぞれに運営に関する費用が支払われていますが、新制度では保護者に対して町田市が「施設型給付費」という形で支給を行うこととなります。

なお、給付費は公費を確実に教育・保育に要する費用に充てるため、利用者への直接的な給付ではなく、町田市から施設等に支払う仕組み(法定代理受領)となっています。

■新制度の対象となる施設・事業

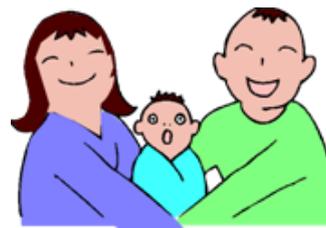
子ども・子育て支援給付	地域子ども・子育て支援事業
○施設型給付 ・認定こども園 ・幼稚園 ・保育所 ○地域型保育給付 ・小規模保育(利用定員6人以上19人以下) ・家庭的保育(利用定員5人以下)	・利用者支援事業(コンシェルジュ) ・子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業) ・養育支援訪問事業 ・ショートステイ、トワイライトステイ(子育て短期支援事業) ・ファミリーサポートセンター事業(子育て援助活動支援事業) ・一時預かり事業 ・延長保育事業(時間外保育事業) ・病児・病後児保育(病児保育事業) ・学童保育クラブ事業(放課後児童健全育成事業) 他

【主な事業費】

- ・施設型給付費 1,231,542 千円
- ・民間等保育所委託料 9,374,450 千円
- ・学童保育クラブ管理運営委託料 969,504 千円

【主な特定財源】

- ・施設型給付費負担金(都) 548,445 千円
- ・児童保育費負担金(国) 1,945,304 千円
- ・児童保育費負担金(都) 972,652 千円



問い合わせ先	子ども生活部 子ども総務課長 三橋	電話	724-2876
--------	-------------------	----	----------

件名		待機児童解消対策事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
463,798			0	266,818	27,900	0
Ⅱ 部・局別予算概要						324・330 ページ
【事業の背景・目的】						
2015年度から始まる子ども・子育て支援新制度の本格実施に伴い、市では保育サービスの多様化と待機児童の早期解消に取り組むために、保育所等の整備を進めます。						
2015年度は、① 20年間期間限定認可保育所を含む民間保育所の整備支援、② 認定こども園の整備支援などにより、計164人の定員増を図ります。						
【主な事業の内容・事業費・特定財源】						
①民間保育所の整備支援 313,947千円 (主な特定財源 子育て支援対策臨時特例交付金 141,943千円)						
主な事業内容		定員	定員増	開所予定	事業費(千円)	
20年間期間限定認可保育所(新築型)への整備費補助		100人×1園	100人	2016年4月	30,000	
既存保育所への増改築整備費補助		89→100人	11人	2016年度中 ※2015~2016年度 債務負担行為事業	64,759	
		120→140人	20人	2017年4月 ※2015~2016年度 債務負担行為事業	25,188	
合計			131人		119,947	
・20年間期間限定認可保育所への賃借料補助…166,000千円(18園合計)						
②認定こども園の整備支援 149,851千円 (主な特定財源 子育て支援対策臨時特例交付金 124,875千円)						
事業内容		定員	定員増	開所予定	事業費(千円)	
幼保連携型認定こども園への整備費補助 (保育所部分)		33人	33人	2016年4月	149,851	
合計			33人		149,851	
①・②の取り組みによる定員増:164人 ※2016年4月1日の定員増:138人(①、②のほか、「わかば保育園建替」による定員増5人を含む。)						
						
問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 田中			電話	724-4467	

件名	(仮称) 町田地区子どもセンター整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
467,638		15,913	107,213	269,900	1,050	73,562

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 337 ページ

地域の子育て・児童の健全育成の拠点として、「子どもセンター基本構想」に基づき、5館目となる(仮称)町田地区子どもセンターを整備します。(仮称)町田地区子どもセンターは、中心市街地に近いという立地条件から、小学生だけでなく、乳幼児とその保護者や中高生の居場所としての機能を拡充した新しいコンセプトを持つ子どもセンターです。

【事業の内容】

場所: 中町一丁目 (旧本庁舎第二駐車場)
 構造: 規模: RC造 地上2階建 延床面積約 1,897 m²

■ (仮称)町田地区子どもセンターの特徴

○「止まり木ゾーン」

乳幼児世帯が多い町田地区のセンターとして、誰もが気軽に立ち寄れるような機能・設備を付加した「止まり木」的なゾーンを配置します。テラス・カフェ・乳幼児室で構成され、子どものみならず、保護者同士、地域をつなぐ交流の場となります。

○「中高生の利用に対応した機能」

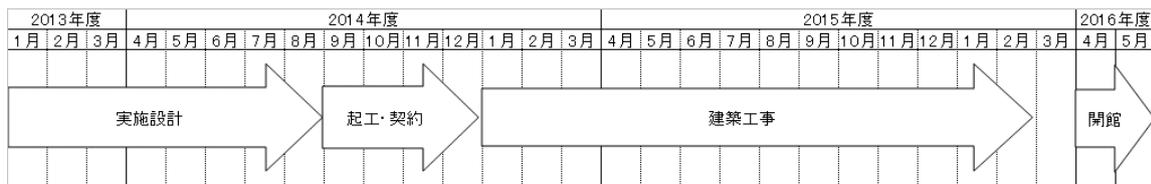
音楽スタジオ、ダンススタジオ、学習スペースなど中高生の意見が設計に反映されています。各所に少人数が集えるスペースを設置し、館内全てが『居場所』となり得る施設となっています。

○「コラボレーションゾーン」

子ども委員会をはじめとした子どもによる企画、利用者が主体となる活動、地域との協働など、コラボレーションするための場となります。

■ 整備スケジュール

2014年度～2015年度(2か年)の工事で2016年2月竣工。2016年4月に開館予定です。



【主な事業費】

- (仮称)町田地区子どもセンター建設工事費 420,026 千円
- (2014～2015年度債務負担行為事業 総事業費 700,043 千円)
- (仮称)町田地区子どもセンター工事監理業務委託料 21,363 千円
- (2014～2015年度債務負担行為事業 総事業費 21,363 千円)

【主な特定財源】 次世代育成支援対策施設整備交付金 15,913 千円

- 児童館環境整備事業補助金 15,913 千円
- 子供家庭支援区市町村包括補助事業補助金 36,300 千円
- 児童福祉施設整備事業債 269,900 千円



【参考】基本設計鳥瞰図

問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 小田島	電話	724-2182
--------	--------------------	----	----------

件名		学童保育クラブ整備事業												
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源								
70,777			0	28,730	25,000	0	17,047							
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 339 ページ												
<p>学童保育クラブに通う児童の安全と良好な保育の質を確保し、保護者が安心して就労できる環境を整備するため、南第一小学校から遠距離にある金森第二学童保育クラブを小学校敷地内に移設します。また、登録児童の増加により、狭あい化している鶴間ひまわり学童保育クラブを増築します。</p>														
【事業の内容】														
事業名称	事業内容	事業実施場所	延床面積											
金森第二学童保育クラブ改修工事	南第一小学校敷地内への移設	鶴間 187 番地 (南第一小学校敷地内)	約 210 m ²											
鶴間ひまわり学童保育クラブ増築工事	既存の学童保育クラブの増築 児童の過ごすスペースの拡大 トイレ・手洗い場増設	鶴間 1083 番地 (鶴間小学校敷地内)	約 130 m ²											
【事業スケジュール】														
	2015 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2016 年	1 月	2 月	3 月
金森第二	実施設計						学童クラブ改修工事							
鶴間 ひまわり	学童クラブ増築工事													
【主な事業費】														
金森第二学童保育クラブ改修工事	11,396 千円													
鶴間ひまわり学童保育クラブ増築工事	47,943 千円													
鶴間ひまわり学童保育クラブ工事監理委託料	2,516 千円													
小山学童保育クラブ育成室借上料	7,504 千円													
【主な特定財源】														
子供家庭支援区市町村包括補助事業補助金	15,045 千円													
学童保育クラブ整備費補助	7,852 千円													
学童クラブ設置促進事業費補助	5,833 千円													
問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 小田島	電話	724-2182											

件名		冒険遊び場補助事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,829		0	4,050	0	0	4,779

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 338 ページ

遊びは、子どもにとって生きることそのもので、自然環境の中で遊ぶことで、五感を使い、さまざまなことに興味を持ち、いろいろな人とかかわりを作ることができます。それぞれのやり方、自分のペースで創意工夫しながら、挑戦し、失敗し、それを乗り越えて成長していくため、子どもが「やってみたいと思うこと」を実現していく遊び場として「冒険遊び場」が着目されています。町田市においてもそのような理念のもと、いくつかの団体がそれぞれの地域でプレーリーダーとなってこの冒険遊び場活動が展開されてきており、活動団体への支援の拡充と全市的な活動の広がりが求められています。

【事業の内容】

2015年度は、鶴川地区に常設型冒険遊び場を設置し、せりがや冒険遊び場同様に、週4日以上活動できる団体に対し活動の補助を実施します。公募により選ばれた市民団体が、地域の協力を受け活動を展開していき、市民・地域・行政が一体となり冒険遊びを通して、子どもの育ちを応援していきます。

■ 常設エリア型冒険遊び場と定期開催型冒険遊び場の違い

	常設エリア型	定期開催型
補助対象団体	① 政治、宗教、営利活動を目的としないこと ② 同種の事業について市から補助、助成を受けていないこと ③ 公募により選ばれた団体 ④ 主たる事務所を市内に置く法人又は10名以上の市民で構成する任意団体	① ②は同左
補助対象活動	① 1回当たり利用者:30人以上 ② 開催回数:年200回以上 常時プレーリーダー※2名以上の配置	① 1回当たり利用者:15人以上 ② 開催回数:年12回~60回 (新規団体のみ3回以上)

※活動時間、料金は、活動団体が決定します。

※プレーリーダー:子どもが自由に遊ぶことができる環境をつくり、遊びの安全を見守る人

【主な事業費】

常設型冒険遊び場活動補助金	7,500千円
定期開催型冒険遊び場活動補助金	600千円



せりがや冒険遊び場(常設型)

【特定財源】

子供家庭支援区市町村包括補助事業補助金 4,050千円

問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 小田島	電話	724-2182
--------	--------------------	----	----------

件名		幼稚園長時間預かり保育事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
18,654			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 323 ページ		
<p>子ども・子育て支援新制度に際して、多くの認定こども園が新制度における給付費と現行の私学助成等の補助に差があるために認定こども園を返上する状況にあります。町田市でも、5園が認定こども園を廃止して新制度に移行しない幼稚園になる予定です。</p> <p>幼稚園に通う児童についても長時間預かってほしいというニーズに対応するとともに、待機児童対策の一環として、保育所と同じ11時間以上の開所で、預かり保育を実施する私立幼稚園を補助する制度を2015年4月から開始します。</p>						
【事業の内容】						
<p>幼稚園としての教育時間に預かり保育の時間を加え、合計11時間の開所を求めるとともに、土曜日についても預かり保育を実施する幼稚園に補助金を交付します。（本事業は、2015年4月からの暫定措置となります。）</p>						
補助要件						
(1)開所時間	11時間以上開所していること。					
(2)開所日	月曜日から土曜日まで開所していること。 （但し、土曜日は11時間開所の必要はない）					
(3)休園日	次に掲げる日を除き、年間を通じて毎日預かり保育を行うこと。 ア 日曜日及び土曜日 イ 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日 ウ 1月2日、同月3日及び12月29日から同月31日まで エ ア、イ及びウに掲げるもののほか、あらかじめ私立幼稚園が定める日（年3日以内）					
(4)職員配置	原則2名以上の職員を配置すること。 配置基準は3歳児20名に対して幼稚園教諭1名、4歳以上児30名に対して幼稚園教諭1名とすること。保育者の資格は保育士又は幼稚園教諭（3歳児以上に限る）とすること。					
(5)利用者要件	利用者が保育を必要とする要件（就労のみ）を有すること。 4ヶ月連続で1日4時間以上かつ月12日以上就労をしていること。					
(6)保育料	保護者から支払いを受ける金額（食費及び光熱水費として支払を受ける金額を除く。）が1月につき15,000円以内であること。					
【主な事業費】						
幼稚園長時間預かり保育補助金 18,654千円						
問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 田中			電話	724-4467	

件名		オリンピック・パラリンピックキャンプ地等招致事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,024			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 109 ページ		
<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、国内において事前キャンプや開催期間中のキャンプが行われます。</p> <p>町田市には、陸上競技場、総合体育館、室内プールなどの施設があり、これらを活用し、2020年のキャンプ地等招致の実現を目指します。また、2019年に開催されるラグビーワールドカップ2019のキャンプ地招致にも取り組んでいきます。</p> <p>これらの活動を行うことで、町田市のブランド力の向上や観光振興・国際交流の機会となります。また、一流のアスリートの姿が間近で見られることで、子どもたちに夢を与え、市民のスポーツ文化の振興に繋がっていきます。</p>						
【事業の内容】						
<p>オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「【仮称】キャンプ地招致推進市民会議」の開催 ・「町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議」の開催 ・プロスポーツ大会開催時におけるキャンプ地招致活動のPR実施 ・オリンピック・パラリンピック出場経験者による講演会の開催 						
【主な事業費】						
オリンピック関連事業周知委託料		3,155 千円				
						
陸上競技場		総合体育館				
問い合わせ先	政策経営部 企画政策課長 平林			電話	724-2103	

件名	野津田公園整備事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
23,824		0	0	0	0	23,824

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 447 ページ

野津田公園は、1981年に基本構想、1987年に基本計画を策定し、「多くの市民が渴望している都市規模にふさわしい、スポーツ施設を中心とした総合公園とする」ことを方針として掲げて、順次開園してきました。

基本計画の策定から約30年が経過し、公園に対する需要、取り巻く環境が変化しています。このような背景を踏まえ、将来を見据えたスポーツ施設を中心とした総合公園として、新たなニーズにも対応できる公園整備の方向性を明確にすることを目的に、第二次野津田公園整備基本計画を2014年5月に策定しました。

総合スポーツパークとしての価値を一層高めるため、2020年に開催する東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進めます。

【事業の内容】

2015年度は、基本計画で示された公園拡張区域(多目的グラウンド等)の都市計画決定を行い、用地買収を進めます。

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
用地買収(先行買収) 都市計画決定	用地買収 基本設計	実施設計	整備工事	

【主な事業費】

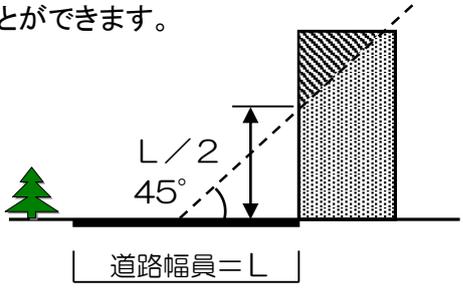
土地鑑定委託料	4,336千円
用地借上料	11,760千円(西駐車場他)
電気ケーブル改修工事費	5,077千円
物件補償積算委託料	2,651千円



問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 萩野	電話	724-4397
--------	------------------	----	----------

件名		小野路球場夜間照明施設整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
29,250			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 448 ページ		
<p>2014年2月に策定した「町田市スポーツ推進計画」において、「既存施設の利用時間の延長」を推進施策としており、これに基づき「町田市スポーツ推進計画アクションプラン」に「夜間照明施設整備事業」を掲げています。</p> <p>○市民が気軽に身近な場所でスポーツに親しめる環境の充実のため、夜間照明を整備し、日中に仕事をしている働き盛りの市民に、スポーツを「する」機会を提供します。</p> <p>○小野路球場は、市内唯一の硬式対応の野球場であり、かつ観客席も整備されていることから、全国高等学校野球選手権大会西東京大会をはじめとした各種大会が開催されています。夜間照明を整備することで、より多くの大規模大会を誘致し、市民がスポーツを「観る」機会を提供します。</p>						
【事業の内容】						
2015年度は、夜間照明施設整備に向け、地質調査と実施設計を行います。						
【スケジュール】						
2015年度		2016年度		2017年度		
地質調査 実施設計		照明工事		利用開始		
【事業費】						
地質調査委託料		2,250千円				
実施設計委託料		27,000千円				
						
イメージ(三輪緑山球場)						
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 萩野			電話	724-4397	

件名		防災・災害対策事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
322,371			161,171	0	136,000	0
○防災行政無線デジタル化事業		Ⅱ 部・局別予算概要 188 ページ				
【事業の目的・内容】						
町田市の防災行政無線は、移動系が1987年度、固定系が1991年度に整備されたもので、機器の老朽化が進んでいます。また、国から現行のアナログ方式から、早期にデジタル方式へ移行することを求められています。このため、2013年度から2017年度にかけて固定系・移動系の親局及び中継局のデジタル化整備を進めています。子局や移動系無線についても、既存機器の有効活用を図りながら、劣化の状態により順次更新を行います。既存の固定系無線局(244局)・移動系無線局(191台)を順次デジタル化するとともに、中継局や屋外拡声子局の増設等により、無線難聴地帯を解消していきます。						
【主な事業費】						
固定系屋外拡声子局69局デジタル化更新・新設		305,444千円				
【主な特定財源】						
防衛施設周辺民生安定施設整備費補助		25,471千円				
社会資本整備総合交付金		135,700千円				
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○自主防災組織への支援</div> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: small;">防災行政無線デジタル化イメージ</p> </div> </div>						
【事業の目的・内容】						
自主防災組織による地域防災力向上を目指し、スタンドパイプ購入に対する補助を行います。						
【事業費】						
自主防災組織スタンドパイプ購入補助金		3,400千円				
○防災情報設備の充実						
【事業の目的・内容】						
東京消防庁の受令波のデジタル化に伴い、町田市消防団へ消防救急デジタル無線受令機を配備します。						
【事業費】						
消防救急デジタル無線受令機購入		7,452千円				
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ≪参考≫ ○境川における調節池整備(東京都事業) </div> </div>						
【事業の目的・内容】						
東京都は境川の治水対策として、調節池を整備し、境川の治水安全度を早期に向上させる方針です。						
町田市は東京都による調節池の設置に協力し、洪水被害リスクの軽減を図り、市民の安全と財産を守ります。						
西田スポーツ広場として暫定利用中の市有地(金森6丁目38)に調節池を整備するため、東京都は主要な施設の構造検討などを進めています。町田市は、調節池は地下部分に整備し、上部利用できる構造とするよう東京都と協議しています。また、その他の市有地についても、検討を進めます。						
問い合わせ先	市民部 防災安全課長 篠崎 下水道部 下水道総務課長 原			電話	724-3218 724-4287	

件名		緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
502,925			241,722	143,369	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ部・局別予算概要 450ページ		
<p>大規模地震の発生時に、建築物の倒壊によって道路が塞がらないようにし、避難や救助活動、物資の輸送が行えるように「緊急輸送道路」※1沿道の建築物の耐震化を推進するため、耐震化に要する費用の一部を補助します。</p> <p>特に「特定緊急輸送道路」※2沿道建築物については、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」において対象となる物件の耐震診断実施が義務化されており、重点的に耐震化を進めます。</p> <p>※1 緊急輸送道路：防災上重要な幹線道路で東京都が指定した道路 ※2 特定緊急輸送道路(耐震診断義務化路線)：緊急輸送道路のうち、町田街道や鎌倉街道など、特に沿道建築物の耐震化を推進する必要がある道路</p>						
【事業の内容】						
○所有者・管理者等に対し、パンフレットの配布や電話及び訪問等により、耐震診断の義務化についての周知と耐震診断の実施を促します。						
○所有者・管理者等に対し、随時耐震診断・設計・改修について申請に基づき補助事業を実施します。						
項目	耐震診断	耐震設計	耐震改修			
対象となる建築物	下記の条件に全て該当する建築物 ・敷地が緊急輸送道路に接している建築物 ・1981年5月31日以前に着工された建築物 ・道路幅員のおおむね1/2以上の高さである建築物					
助成対象費用の限度額	イ 面積1,000㎡以内の部分		2,060円/㎡			
	ロ 面積1,000㎡を超えて2,000㎡以内の部分		1,540円/㎡			
	ハ 面積2,000㎡を超える部分		1,030円/㎡			
緊急輸送道路(特定以外)助成率	4/5	2/3	2/3			
特定緊急輸送道路助成率	10/10	5/6(※10/10)	5/6(※9/10)			
※2015年度までの拡充補助として、国による直接補助を受けることができます。						
【事業費】						
・耐震改修促進計画業務委託料			979千円			
・緊急輸送道路沿道建築物耐震促進助成金			501,946千円			
[内訳] 耐震診断			12,314千円、耐震設計			
			10,092千円			
耐震改修			479,540千円(原町田6丁目他)			
【特定財源】						
防災・安全交付金(国)			241,722千円			
耐震改修費補助金(都)			143,369千円			
問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 市村			電話	724-4269	

件名		住宅耐震促進事業																							
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																			
43,814			15,556	1,357	0	0	26,901																		
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 450 ページ																					
<p>町田市では、大規模地震発生による住宅の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、地震対策として住宅の耐震化を新5ヵ年計画における重点事業として位置付け、木造住宅の耐震診断や耐震設計および工事の支援、分譲マンションの耐震診断の支援などの事業により耐震化を推進しています。</p>																									
【事業の内容】																									
<p>○本制度による診断、助成の対象となる建物は、市内にあり、1981年5月31日以前に着工し、自らが居住している木造住宅、分譲マンションです。</p> <p>○簡易耐震診断(木造住宅)は、無料で受けることができます。</p> <p>○耐震診断(木造住宅は精密耐震診断)、地震に対して安全な構造とするための耐震設計、耐震改修工事、耐震シェルター等設置に対し、それぞれに要した経費の一部を市が助成します。</p> <p>○各地域で耐震相談会等を実施し、耐震化の必要性和助成制度の周知など、普及啓発を行っています。</p> <p>※その他、木造住宅耐震アドバイザー派遣事業、分譲マンション耐震アドバイザー助成事業があります。</p> <p>※高齢者世帯の耐震改修工事・耐震シェルターは、上限額に上乗せがあります。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>予定件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木造住宅簡易耐震診断事業</td> <td>市が診断士を派遣</td> <td>150件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅精密耐震診断助成事業</td> <td rowspan="4">経費の1/2</td> <td>10万円上限</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震設計助成事業</td> <td>10万円上限</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修工事助成事業</td> <td>50万円上限</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震シェルター等設置助成事業</td> <td>20万円上限</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>							項目	内容	予定件数	木造住宅簡易耐震診断事業	市が診断士を派遣	150件	木造住宅精密耐震診断助成事業	経費の1/2	10万円上限	50件	木造住宅耐震設計助成事業	10万円上限	40件	木造住宅耐震改修工事助成事業	50万円上限	30件	木造住宅耐震シェルター等設置助成事業	20万円上限	3件
項目	内容	予定件数																							
木造住宅簡易耐震診断事業	市が診断士を派遣	150件																							
木造住宅精密耐震診断助成事業	経費の1/2	10万円上限	50件																						
木造住宅耐震設計助成事業		10万円上限	40件																						
木造住宅耐震改修工事助成事業		50万円上限	30件																						
木造住宅耐震シェルター等設置助成事業		20万円上限	3件																						
【主な事業費】																									
<table> <tr> <td>住宅耐震促進委託料</td> <td>16,570千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(市が実施する簡易診断、耐震アドバイザー)</td> </tr> <tr> <td>住宅耐震促進助成金</td> <td>26,989千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(精密診断、耐震設計、改修工事助成)</td> </tr> </table>							住宅耐震促進委託料	16,570千円	(市が実施する簡易診断、耐震アドバイザー)		住宅耐震促進助成金	26,989千円	(精密診断、耐震設計、改修工事助成)												
住宅耐震促進委託料	16,570千円																								
(市が実施する簡易診断、耐震アドバイザー)																									
住宅耐震促進助成金	26,989千円																								
(精密診断、耐震設計、改修工事助成)																									
【主な特定財源】																									
<table> <tr> <td>防災・安全交付金(国)</td> <td>15,016千円</td> </tr> <tr> <td>住宅費補助(都)</td> <td>1,357千円</td> </tr> </table>							防災・安全交付金(国)	15,016千円	住宅費補助(都)	1,357千円															
防災・安全交付金(国)	15,016千円																								
住宅費補助(都)	1,357千円																								
																									
問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 市村			電話	724-4269																				

件名		汚水管渠地震対策事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
314,300		40,000	2,000	272,300	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 470 ページ

大規模地震の発生が懸念される中、管渠の耐震化と多くの避難者が集まる避難施設での衛生的な生活環境の確保は急務となっています。

そこで、管渠の耐震化工事を進めるとともに、避難施設にマンホールトイレシステムを整備し、被災時の市民の衛生的な生活環境を確保します。

【事業の内容】

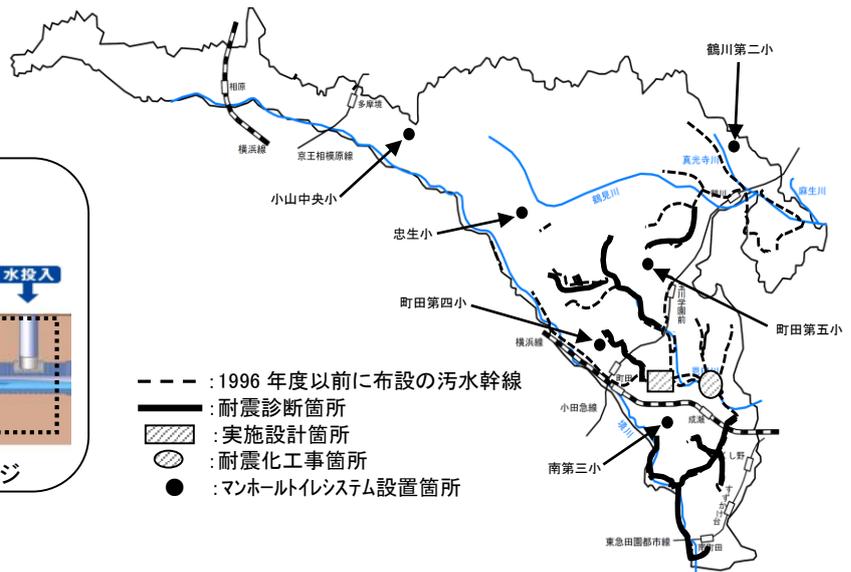
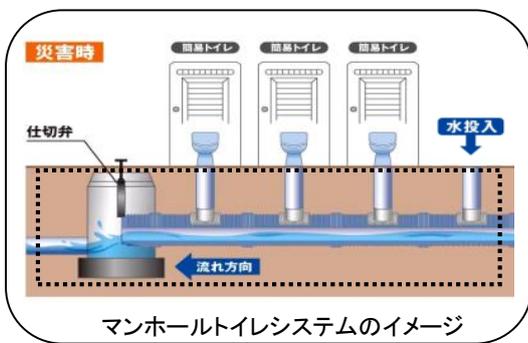
① 汚水幹線の耐震化

1996年度以前に敷設した汚水幹線を診断し、耐震基準を満たしていない箇所の耐震化を行います。2015年度は耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない町田汚水幹線の一部の耐震化を行います。あわせて恩田川、南、原町田ほか汚水幹線の耐震診断を行います。

② マンホールトイレシステムの設置

避難施設の小学校6校(南第三小学校、町田第四小学校、町田第五小学校、鶴川第二小学校、忠生小学校、小山中央小学校)にマンホールトイレシステムを設置します。

※ 1箇所あたり10基のマンホールトイレを設置します。



【事業費】

汚水幹線耐震診断委託料	78,500 千円
汚水幹線耐震化工事実施設計委託料	9,900 千円
汚水幹線耐震化工事費	147,300 千円
マンホールトイレシステム設置工事費	78,600 千円

【特定財源】

防災・安全交付金(国)	40,000 千円
下水道費補助(都)	2,000 千円
下水道事業債	272,300 千円

問い合わせ先	下水道部 下水道整備課長 神蔵	電話	724-4296
--------	-----------------	----	----------

件名		雨水管渠整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
512,200			61,600	3,080	375,400	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 470 ページ		
<p>近年、多発している集中豪雨や大型台風による都市型の浸水被害が問題となっており、その対策が求められています。</p> <p>そこで、過去の浸水被害箇所から対策が必要な19地区を選定し、2016年度までに、その内の5地区について計画的に雨水管の整備を行うとともに、道路整備事業にあわせた雨水管整備も行い、浸水被害の軽減を図ります。</p>						
【事業の内容】						
①小川1号雨水幹線工事(つくし野地区)		延長 211m				
②鶴間雨水枝線工事(道路関連工事)		延長 143m				
		合計 354m				
【事業費】						
管渠等整備委託料		497,200 千円				
幹線・枝線管渠工事費		15,000 千円				
【特定財源】						
社会資本整備総合交付金(国)		61,600 千円				
下水道費補助(都)		3,080 千円				
下水道事業債		375,400 千円				
問い合わせ先	下水道部 下水整備課長 神蔵			電話	724-4296	

件名		市民病院自家発電設備更新事業（病院事業会計）				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
390,866			0	0	0	83,000

【事業の背景・目的】

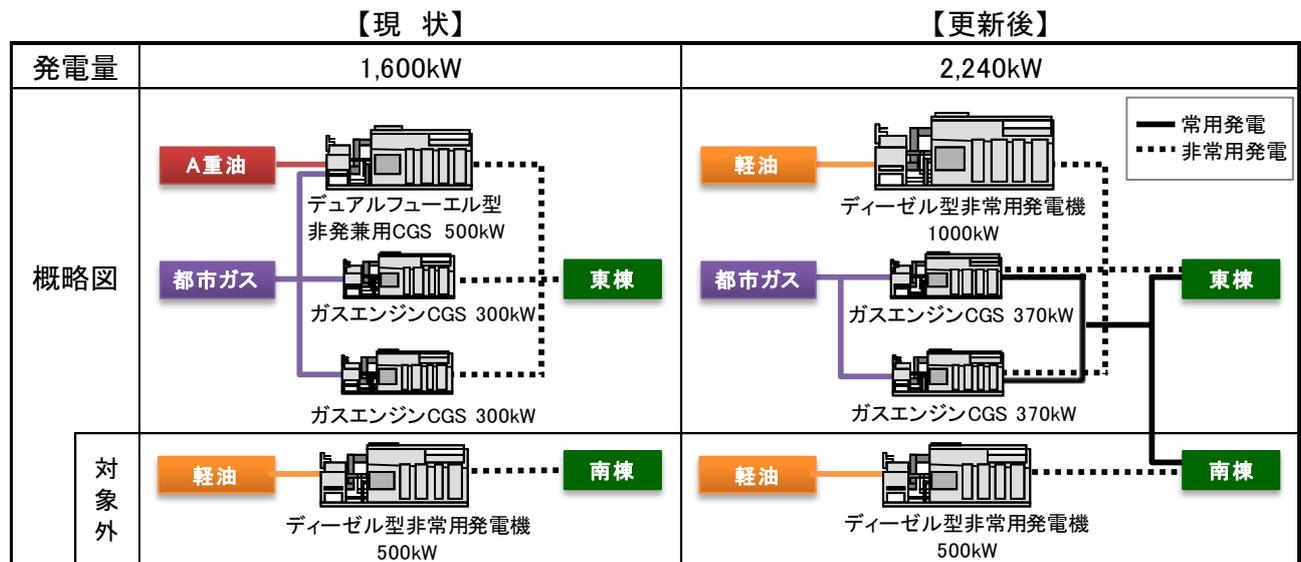
市民病院自家発電設備は 1999 年度から運用を開始し 15 年が経過しました。東日本大震災後の計画停電時においては、自家発電設備により医療を継続して提供しましたが、院内全ての電力を賅えるものではないため、一部の検査機器を使用することができず、救急搬送の受入を一時中止した経緯があります。

市民病院は、災害拠点病院の機能充実の一環として、首都直下型地震などの大災害発生時においても全ての医療を継続できるように、院内で使用する医療機器の電力を全て賅うことができる自家発電設備を導入します。更新にあたり新たな設備では、近隣への騒音や振動の低減を図ると共に、常用発電を備えることでランニングコストや二酸化炭素排出量の低減を図ります。

自家発電による使用電力 100%の確保や常用発電による省エネルギー化は、公立病院として先進的な取組であり、2017 年 3 月の完成を目指して債務負担行為を設定し、実施するものです。

【事業の内容】

- 整備内容 非常用発電機、コージェネレーションシステム、熱源、ボイラーの更新
- 工期 2015 年 4 月～2017 年 3 月



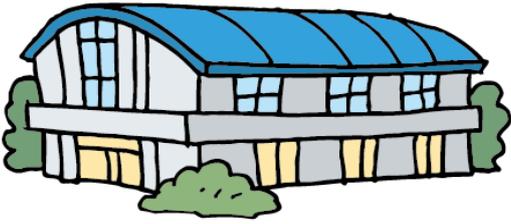
【主な事業費】

- 自家発電設備更新工事費 378,998 千円
- 自家発電設備更新工事監理委託料 10,800 千円
- (2015～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 1,002,983 千円)

【特定財源】

- 分散型電源導入促進事業費補助金 83,000 千円

問い合わせ先	市民病院事務局 施設用度課長 大曾根	電話	724-2230(代)
--------	--------------------	----	-------------

件名		小・中学校防災機能強化事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
625,897			208,631	104,315	312,900	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 518・519 ページ				
<p>町田市では2010年度に市立小・中学校の耐震化率100%を達成しました。しかし、東日本大震災では、新耐震基準の施設や耐震補強済みの施設においても、非構造部材の落下等による被害が多数発生しました。地震による落下物や転倒物から児童・生徒を守り、避難施設としての防災機能強化を図るため、非構造部材（高所に設置されている吊り天井、照明器具、バスケットゴール等）の落下防止対策を実施します。</p> <p>2015年度は小学校29校の体育館非構造部材補強工事及び中学校2校（町田第一中学校、南中学校）のプール吊り天井落下防止工事を行います。2015年度の工事によって、全校の体育館やプール等大規模な空間における非構造部材落下防止対策の工事が完了します。</p>						
【事業の内容】						
○体育館非構造部材補強工事 小学校29校						
（事業スケジュール）						
2013年度		2014年度		2015年度		
体育館非構造部材補強調査・設計 （小学校13校、中学校20校）		33校工事実施				
		体育館非構造部材補強調査・設計 （小学校29校）		29校工事実施 【62校完了】		
○プール吊り天井落下防止工事 中学校2校（町田第一中学校、南中学校）						
【事業費】						
体育館非構造部材補強工事費		545,760千円				
体育館非構造部材補強工事監理委託料		14,069千円				
プール吊り天井落下防止工事費		63,568千円				
プール吊り天井落下防止工事監理委託料		2,500千円				
【特定財源】						
学校施設環境改善交付金（国1/3）		208,631千円				
学校施設非構造部材耐震化支援事業費補助金（都1/6）		104,315千円				
全国防災事業債		312,900千円				
						
問い合わせ先	学校教育部 施設課長 岸波			電話	724-2174	

件名	鶴川第一小学校改築事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,924,971		388,111	185,000	1,131,900	0	219,960

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 518 ページ

本事業は、鶴川第一小学校における、①老朽化の解消、②学習環境向上のための改築事業です。

【事業の内容】

改築工事は、仮設校舎を建てずに既存校舎を活用し、改築校舎が完成次第移転する工程で実施します。

○スケジュール

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
校舎棟改築	→			
体育倉庫等整備	→			
給食棟改築・校庭整地		→		
体育館棟改築			→	
第二運動場・植栽				→

※2016年4月新校舎使用開始

○予定規模及び特徴

	予定規模	特徴
校舎棟	延べ床面積7,763㎡ RC造4F 普通教室29 特別教室13 管理諸室 ランチルーム等	○環境やライフサイクルコストを考慮した計画 太陽光発電設備(30kw)設置、中水利用、LED照明器具の採用やペアガラス採用等、エネルギーの省力化を実現します。 ○災害時に備え防災機能を強化 停電時には太陽光発電による電気を利用します。 ○まとまりのある教室配置 児童数の増加による教室不足や増築を重ねた結果、特別教室や普通教室が点在し指導上の支障となっていました。新校舎ではまとまりのある教室配置とすることで、学習環境が向上します。
給食棟	延べ床面積568㎡ RC造2F	○ドライ方式の給食調理室を整備 ○アレルギー食に対応した調理スペースを設置
校庭	整地面積約5,000㎡	○スプリンクラーを整備



【主な事業費】

(工事)

校舎棟改築工事費	1,560,300 千円
(2014-2015 年度債務負担行為 総額 2,624,500 千円)	
校舎棟改築工事監理業務委託料	48,000 千円
(2014-2015 年度債務負担行為 総額 48,000 千円)	
給食棟改築及び校庭整地(解体含む)工事費	252,075 千円
(2015-2016 年度債務負担行為 総額 629,602 千円)	
給食棟改築及び校庭整地(解体含む)工事監理業務委託料	2,167 千円
(2015-2016 年度債務負担行為 総額 7,220 千円)	
太陽光発電設備工事費	26,510 千円

(消耗品、備品の整備等)

消耗品費(初度調弁)	8,747 千円
備品購入費(初度調弁、教材用、保健用)	20,210 千円
運搬料	3,355 千円
廃棄物処分委託料	1,079 千円
室内環境測定委託料	438 千円

【特定財源】

学校施設整備費負担金(国 1/2)	138,443 千円
学校施設環境改善交付金(国 1/3※)	249,668 千円
※太陽光発電設備は補助率 1/2	
市町村総合交付金	185,000 千円
学校教育施設等整備事業債	1,131,900 千円



鶴川第一小学校完成予想図

問い合わせ先	学校教育部 教育総務課長 高橋	電話	724-2172
	施設課長 岸波		724-2174

件名		小・中学校トイレ改修事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
434,128			137,798	0	215,600	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 518・519 ページ				
<p>教育環境の改善を推進するために、和式便器から洋式便器への取替え、臭気の改善等明るく清潔で使いやすいトイレ環境の整備が必要です。トイレを改修することで、児童・生徒の学校生活に密接に関わりのあるトイレが明るく、安心できる空間となるとともに、配管等が改修されるため臭気が解消され、教育環境の向上につながります。</p>						
【事業の内容】						
<p>和式便器を洋式便器に取替え、ブースの床、壁、天井や照明器具を全面改修することで、使いやすく、明るい、安心できるトイレ環境に整備します。</p> <p>また、省エネに配慮した節水便器・感知式照明・泡沫水洗等に設備を変更し、エネルギー使用量の削減を図ります。</p> <p>○トイレ改修工事 小学校 3 校(鶴川第三小学校、鶴川第四小学校、山崎小学校) ○トイレ改修設計 小学校 4 校(成瀬中央小学校、町田第四小学校、つくし野小学校、本町田東小学校) 中学校 2 校(堺中学校、金井中学校)</p>						
						
改修事例 小川小学校						
【事業費】						
トイレ改修工事費 小学校 3 校		386,148 千円				
トイレ改修工事監理委託料 小学校 3 校		11,398 千円				
トイレ改修設計委託料 小学校 4 校・中学校 2 校		36,582 千円				
【特定財源】						
学校施設環境改善交付金（国 1/3）		137,798 千円				
学校教育施設等整備事業債		215,600 千円				
問い合わせ先	学校教育部 施設課長	岸波	電話	724-2174		

件名		小・中学校施設防音事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
698,659			403,591	115,937	63,700	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 518・519ページ				
<p>防衛施設周辺の航空機騒音による影響を防止・軽減するため、防音工事を行い、教育環境の改善を図っています。2006年1月に厚木基地住宅防音対象区域が見直され、防音対象区域内の学校は15校(小学校10校、中学校5校)となりました。2014年度末までに10校(小学校7校、中学校3校)の防音工事が完了しました。</p>						
【事業の内容】						
防音工事の主な内容						
①防音サッシへの取替え						
②防音仕様の空調機への取替え・新設及びそれに伴う天井改修						
③サッシ廻りの外壁改修						
防音工事を行うことで、室内の遮音性が向上し、航空機騒音による影響を防止・軽減することができ、教育環境の改善が図られます。防音工事に併行して、トイレ改修と非構造部材落下防止工事を実施します。						
2015年度は町田第二小学校(2年目)、南中学校(1年目)の工事を実施します。						
【主な事業費】						
防音工事費(町田第二小学校)		300,881千円				
(2014-2015年度債務負担行為 総額 540,800千円)						
防音工事監理委託料(町田第二小学校)		10,152千円				
(2014-2015年度債務負担行為 総額 12,400千円)						
防音工事費(南中学校)		279,159千円				
(2015-2016年度債務負担行為 総額 697,896千円)						
防音工事監理委託料(南中学校)		4,135千円				
(2015-2016年度債務負担行為 総額 16,540千円)						
【特定財源】						
防衛施設周辺防音事業費補助(国 10/10)		365,260千円				
学校施設環境改善交付金(トイレ改修 国 1/3)		34,457千円				
学校施設環境改善交付金(非構造部材落下防止 国 1/3)		3,874千円				
学校施設非構造部材耐震化支援事業費補助金(非構造部材落下防止 都 1/6)		1,937千円				
市町村総合交付金		114,000千円				
学校教育施設等整備事業債		58,000千円				
全国防災事業債		5,700千円				
問い合わせ先	学校教育部 施設課長 岸波			電話	724-2174	



件名		小学校通学路防犯カメラ整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
24,380			0	10,450	3,100	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 522 ページ		
<p>町田市では、犯罪等を抑止し児童・生徒が安全・安心に通学できることを目的として、2014年度から市立小学校通学路への防犯カメラの整備を進めています。</p> <p>2015年度は11校の通学路に防犯カメラを整備し、2016年2月から稼働します。</p>						
【事業の内容】						
<p>○2014年度から2018年度の5ヵ年計画で、市立小学校全42校の通学路に、防犯カメラ(1校あたり5台を目安)を整備します。なお、防犯カメラの整備にあたっては、東京都通学路防犯設備整備補助金の制度を活用します。</p>						
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	5ヶ年計
整備校数	1校 (モデル校)	11校	10校	10校	10校	市立小学校 全42校
整備台数	5台	55台	50台	50台	50台	全210台
【事業費】						
防犯カメラ整備費(11校55台)		20,900千円				
維持管理費(設備保守点検委託料、電気料金等)		3,480千円				
【特定財源】						
東京都通学路防犯設備整備補助金		10,450千円				
(都1/2、小学校1校950千円上限)						
学校教育施設等整備事業債		3,100千円				
						
問い合わせ先	学校教育部 学務課長 田中			電話	724-2176	

件名		小学校図書室空調設置事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,900			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 518 ページ		
<p>近年、平均気温の上昇等により、特に夏場は教室内が高温になるなど、授業や児童の健康への影響が懸念されています。快適な学習環境とするため、学校生活の中で過ごす時間が長い普通教室につきましては2012年度に市内の全小・中学校の空調設置を完了しました。</p> <p>また、特別教室につきましても、空調設備を設置し、室内環境を改善することが望まれています。そのうち、遮音性が求められる音楽室等、窓の開閉によって室温調節をすると支障が生じるような特別教室につきましては空調設置に取り組み、パソコン室は2005年度、音楽室は2008年度に市内の全小・中学校の空調設置を完了しました。</p> <p>現在は、図書室の空調設置を進めており、2013年度に中学校全校の図書室への空調設置を完了しました。小学校につきましては、2015年度に3校設置することで、全ての小・中学校における図書室の空調設置が完了します。</p>						
【事業の内容】						
図書室空調設置（南第二小学校、高ヶ坂小学校、南成瀬小学校）						
【事業費】						
図書室空調設置工事費 3,900 千円						
						
問い合わせ先	学校教育部 施設課長 岸波			電話	724-2174	

件名		忠生市民センター建替事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
77,446			0	9,000	56,100	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ部・局別予算概要 172ページ		
<p>地域で活動している市民団体や芸術・文化活動を行う団体などに活動の場を提供し、人と人がつながって地域を支えるまちづくりの拠点として、老朽化した忠生市民センターを建替えます。</p> <p>建替えにあたっては、図書館や乳幼児健診施設も備えた複合施設とします。</p>						
【事業の内容】						
2015年度は外構工事を行います。						
規模・構造：敷地面積 5,878 m ² / 延床面積約 4,680 m ² ・鉄筋コンクリート造 地上3階建て						
施設	建替前	建替後	機能拡充のポイント			
行政サービスと地域活動の窓口	260 m ²	490 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点として地域活動室(定員30名)を設置 ・災害時は地域活動室に消防団分団本部を開設し、情報連絡拠点として活用 			
図書施設	図書室 60 m ²	図書館 1,230 m ²	新たに市内8館目となる市立図書館を設置(蔵書冊数約10万冊を予定)			
コミュニティ施設	ホール 他5室 470 m ²	ホール 他9室 1,020 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス、軽スポーツ、集会等に利用できる多目的ホールとして、規模・設備を拡充(定員:300名) ・防音設備を備えた多目的室、会議室、和室、料理講習室を設置し、規模・設備を充実 			
出会い・交流・憩いのエリア	40 m ²	550 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報や市民活動情報の受発信の場とするための展示スペース、エントランスロビー、交流スペースを設置 ・キッズコーナー、授乳室を設置 			
乳幼児健診施設 (忠生保健センター)	—	360 m ²	市内4箇所目となる乳幼児集団健診施設を設置し、乳幼児健診、乳幼児・母性相談を実施			
その他	470 m ²	1,030 m ²	非常用発電機室(72時間対応)、防災備蓄倉庫等を設置			
合計	1,300 m ²	4,680 m ²				
駐車場台数	27台	63台	障がい者用2台、思いやり駐車区画4台			
【事業スケジュール】						
2013年度	2014年度		2015年度			
<ul style="list-style-type: none"> ■仮設庁舎設置 ■建築工事 (1年目/3カ年工事) 	<ul style="list-style-type: none"> ■建築工事 (2年目/3カ年工事) ■忠生市民センターオープン(15年3月) 		<ul style="list-style-type: none"> ■外構工事(3年目/3カ年工事) ■忠生保健センターオープン(4月) ■忠生図書館オープン(5月) 			
【主な事業費】 工事請負費 54,500千円 (2013~2015年度債務負担行為事業 総事業費 1,441,000千円)						
【特定財源】市町村総合交付金 9,000千円 忠生市民センター建替事業債 56,100千円						
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 宮崎			電話	724-4346	

件名		成瀬コミュニティセンター建替事業																										
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																						
213,587			0	26,000	160,100	0	27,487																					
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 172 ページ																								
<p>成瀬コミュニティセンターは1970年(昭和45年)に竣工した旧小学校校舎を利用しているため、バリアフリー対応が不十分であり、老朽化の進行や耐震性能不足等から建替が強く求められていました。また、防災意識の高まりや環境配慮への要請を踏まえると同時に、地域における人々のつながりを高める場を確保することも必要となっています。以上のことから「誰もが安心して使いやすい」「明るく居心地の良い」施設を整備することを目的として成瀬コミュニティセンターを建替・改修しています。</p> <p>2014年度から始まった建替工事の2カ年目となります。2015年度の事業内容は1期工事(既存棟解体工事・建替棟建設工事)に加え、舞台機構・太陽光発電設備、外構等の2期工事を行います。</p>																												
【事業の内容】																												
<p>《所在地》町田市西成瀬二丁目49番1</p> <p>《規模・構造》鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積1,921㎡</p> <p>《施設計画》</p> <table border="0"> <tr> <td>コミュニティ集会スペース(第1会議室・第2会議室・和室)</td> <td>87㎡</td> </tr> <tr> <td>多目的活動スペース(多目的室1~3・ホール・音楽室・工芸室・地域活動室)</td> <td>773㎡</td> </tr> <tr> <td>子育て・キッズ・文庫スペース(かえで文庫・キッズエリア・授乳室)</td> <td>61㎡</td> </tr> <tr> <td>交流・憩いのスペース(ロビー・展示スペース・フリースペース)</td> <td>348㎡</td> </tr> <tr> <td>その他(倉庫・事務室・印刷室・トイレ等)</td> <td>652㎡</td> </tr> </table> <p>《事業スケジュール》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014年度</th> <th>2015年度</th> <th>2016年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1期工事(本体)</td> <td>2月</td> <td></td> <td>6月 7月 オープン</td> </tr> <tr> <td>2期工事(舞台機構等)</td> <td></td> <td>11月</td> <td>6月 7月 オープン</td> </tr> </tbody> </table>							コミュニティ集会スペース(第1会議室・第2会議室・和室)	87㎡	多目的活動スペース(多目的室1~3・ホール・音楽室・工芸室・地域活動室)	773㎡	子育て・キッズ・文庫スペース(かえで文庫・キッズエリア・授乳室)	61㎡	交流・憩いのスペース(ロビー・展示スペース・フリースペース)	348㎡	その他(倉庫・事務室・印刷室・トイレ等)	652㎡		2014年度	2015年度	2016年度	1期工事(本体)	2月		6月 7月 オープン	2期工事(舞台機構等)		11月	6月 7月 オープン
コミュニティ集会スペース(第1会議室・第2会議室・和室)	87㎡																											
多目的活動スペース(多目的室1~3・ホール・音楽室・工芸室・地域活動室)	773㎡																											
子育て・キッズ・文庫スペース(かえで文庫・キッズエリア・授乳室)	61㎡																											
交流・憩いのスペース(ロビー・展示スペース・フリースペース)	348㎡																											
その他(倉庫・事務室・印刷室・トイレ等)	652㎡																											
	2014年度	2015年度	2016年度																									
1期工事(本体)	2月		6月 7月 オープン																									
2期工事(舞台機構等)		11月	6月 7月 オープン																									
【事業費】																												
<p>工事請負費 213,587千円</p> <p>《内訳》 142,169千円 第1期工事:解体・本体工事 (2014~2016年度債務負担行為事業 総事業費710,846千円)</p> <p>71,418千円 第2期工事:舞台機構・太陽光発電設備・外構工事 (2015~2016年度債務負担行為事業 総事業費178,544千円)</p>																												
【特定財源】																												
<p>市町村総合交付金 26,000千円</p> <p>地域センター建替事業債 160,100千円</p>																												
 <p>完成イメージ</p>																												
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 宮崎			電話	724-4346																							

件名		玉川学園コミュニティセンター建替・玉川学園前駅周辺整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
75,222			0	13,000	39,000	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 172・406 ページ		
<p>玉川学園コミュニティセンター(1974年7月開設)は、地元住民を中心に文化活動の拠点として活発に利用されています。しかし、建築後40年を経過したことにより、施設の老朽化が顕著となり、利用者の要請に応えられなくなっています。そのため施設のあり方について市民とともに検討を進め、施設を建替えます。</p> <p>また、玉川学園コミュニティセンターの建替と併せて、玉川学園前駅周辺を整備し、安全かつ円滑な移動を可能にします。</p>						
【事業の内容】						
<p>玉川学園コミュニティセンター建替に向けて基本計画を策定するとともに、玉川学園前駅にペDESTリアンデッキを設置するための設計をします。</p> <p>《施設の現状》</p> <p>所在地 : 玉川学園 2-19-2 構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 地上3階建</p> <p>延床面積 : 595㎡ 建築年 : 1974年竣工・1991年増築部竣工</p> <p>諸室 : ホール(定員100人 89㎡)、第1会議室(定員21人 40㎡)</p> <p> 第2会議室(定員16人 26㎡)、第3会議室(定員20人 29㎡)</p> <p> 和室(保育室)(定員14人 17㎡ 10畳)、いこいの間(定員14人 17㎡ 10畳)</p> <p> 事務室及び児童図書室(86㎡)、管理室(11㎡)</p>						
【事業スケジュール】						
項目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
①玉川学園コミュニティセンター建替	■基本計画策定 定検討	■基本計画策定 ■基本・実施設計 ■用地購入	■基本・実施設計	■解体・建築工事	■建築工事 ■施設オープン予定	
②玉川学園前駅周辺整備	■調査測量 ■地質調査	■駅舎接続検討設計	■調査測量 ■詳細設計	■ペDESTリアンデッキ 整備工事	■ペDESTリアンデッキ 整備工事	
【主な事業費】						
①玉川学園コミュニティセンター建替						
基本計画策定委託料 2,894千円						
基本・実施設計委託料 10,604千円(2015年度～2016年度債務負担行為事業 総事業費35,345千円)						
用地購入費 52,000千円						
②玉川学園前駅周辺整備						
駅舎接続検討設計委託料 7,000千円						
【特定財源】						
①玉川学園コミュニティセンター建替						
市町村総合交付金 13,000千円 地域センター建替事業債 39,000千円						
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 宮崎			電話	724-4346	
	建設部 道路整備課長 福田				724-1122	

件名		重度障がい者通所施設整備事業																						
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																		
328,820			0	0	205,000	0	123,820																	
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 228 ページ																				
<p>現在、町田市では医療的ケアを必要とする重度障がい者が日中に通所できる施設が不足しており、市内での通所先確保が困難となっています。また、医療的ケアを必要とする重度障がい児（者）が通所可能な放課後等デイサービス事業所、相談支援事業所がありません。</p> <p>医療的ケアを必要とする重度障がい者が子どもから大人まで一貫して通所でき、相談支援機能も併せ持つ、包括的な支援が可能な施設の整備が求められています。</p>																								
【事業の内容】																								
「多機能型施設」を整備する事業者に対して、その整備費用を補助します。																								
■「重度障がい者通所施設」施設整備費補助(2015年度～2016年度 債務負担行為事業)																								
(施設概要)																								
運営主体	社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会																							
構造	鉄骨造 2階建																							
面積	2,970.09 m ²																							
建設予定地	函師町 191-1 他																							
サービス種別	生活介護、就労継続支援B型、放課後等デイサービス、相談支援事業																							
定員※	110人																							
※定員(サービスごとの定員)																								
成人対象:生活介護事業(医療的ケア対応可能)70名、就労継続支援B型事業30名																								
学齢対象:放課後等デイサービス事業10名																								
■スケジュール																								
年度	2015年度						2016年度																	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
スケジュール																								
【事業費】																								
障がい者福祉施設整備費補助金 328,820千円																								
(2015年度～2016年度 債務負担行為事業 総事業費 822,050千円)																								
【特定財源】																								
障がい者福祉施設整備事業債 205,000千円																								
問い合わせ先	地域福祉部 障がい福祉課長 叶内			電話	724-2136																			

件名		臨時福祉給付金給付事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
509,458			509,458	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 224 ページ		
<p>2014年4月から消費税率が8%へ引き上げられたことに伴い、所得の低い方々に対する負担緩和を目的として、国の補助を受けて臨時福祉給付金を支給します。</p>						
【事業の内容】						
① <u>事業の実施時期</u>						
2015年8月予定						
② <u>給付金の内容</u>						
2015年1月1日を基準日として、町田市に住民登録されている者(外国人含む)のうち、市民税が課税されていない者(※次のア、イの該当者を除く)1人につき6,000円を支給します。						
※ア 市民税が課税されている者の扶養親族等						
イ 生活保護法に基づく被保護者等						
③ <u>支給対象者数(推定)</u>						
65,000人						
【事業費】						
臨時福祉給付金 390,000千円						
・算出根拠 基本分 65,000人 × 6,000円						
事務費 119,458千円						
・臨時福祉給付金業務委託料 90,706千円						
(システム構築、申請書等発送、受付、確認、振込みデータ作成、問合せ応答業務)						
・郵便料 16,788千円						
・口座振替手数料 5,055千円						
【特定財源】						
臨時福祉給付金事業費補助金 509,458千円						
問い合わせ先	地域福祉部 福祉総務課長 高階			電話	724-4431	

件名	子育て世帯臨時特例給付金給付事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
247,361			247,361	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 224 ページ		
2014年4月から消費税率が8%へ引き上げられたことに伴い、子育て世帯に対する負担緩和を図ることを目的として、国の補助を受けて子育て世帯臨時特例給付金を支給します。						
【事業の内容】						
① <u>事業の実施時期</u>						
2015年6月予定						
② <u>給付金の内容</u>						
・支給対象者						
平成27年(2015年)6月分の児童手当(特例給付を除く)の受給者						
・対象児童						
平成27年(2015年)6月分の児童手当(特例給付を除く)の対象となる児童						
・給付額						
対象児童1人につき3,000円						
② <u>支給対象児童数(推定)</u>						
53,000人						
【事業費】						
子育て世帯臨時特例給付金 159,000千円						
・算出根拠 53,000人×3,000円						
事務費 88,361千円						
・子育て世帯臨時特例給付金業務委託料 69,364千円						
(システム構築、申請書等発送、受付、確認、振込みデータ作成、問合せ応答業務)						
・郵便料 12,196千円						
・口座振替手数料 3,672千円						
【特定財源】						
子育て世帯臨時特例給付金事業費補助金 247,361千円						
問い合わせ先	地域福祉部 福祉総務課長 高階			電話	724-4431	

件名	第6期町田市介護保険事業計画					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
-		-	-	-	-	-

Ⅱ 部・局別予算概要 292~295 ページ

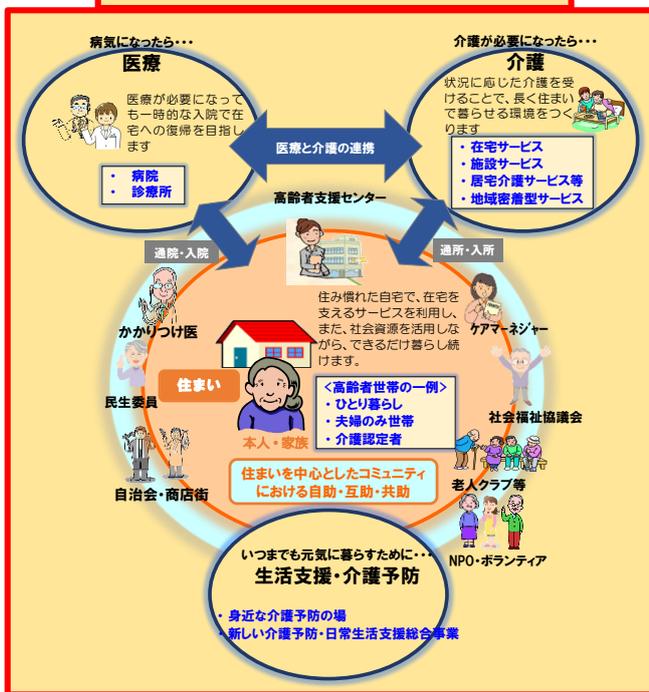
【事業の背景・目的】

介護保険事業計画は、介護保険サービスの円滑な提供の為に策定する3年間の事業計画です。第6期事業計画(2015~2017年度)は、団塊の世代が後期高齢者となり、介護ニーズの急増が見込まれる2025年を見据え、地域包括システムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保を目的としています。

【事業の内容】

介護・医療・生活支援等を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、第5期事業計画に引き続き推進するため、5つの重点事業を中心に取り組みます。

町田版地域包括ケアシステムの構築



- 【重点事業】
- ①高齢者支援センターの機能の充実
⇒介護予防事業を企画する担当員の配置
 - ②新しい介護予防・日常生活支援事業の実施
 - ③在宅医療・介護連携の推進
⇒「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」の推進
 - ④認知症早期対応・早期受診の支援
⇒認知症初期集中支援チーム事業の推進
 - ⑤在宅介護を支える介護保険サービスの整備促進
⇒定期巡回、小規模多機能等の地域密着型サービスの整備

【事業費及び介護保険料額について】

第6期事業計画の総事業費は期間全体で約905億円となり、第5期事業計画期間の約758億円に対し、約19%の増加を見込んでいます。



介護保険料は、要介護(又は要支援)認定者数の増加などに伴う給付費の伸びや、介護報酬改定、国の制度改正などを考慮した上記の総事業費を基に算定した上で、市の介護保険給付費準備基金から3年間で約5億円を活用します。その結果、一人当たり月額基準額は5,390円(予定)となります。

問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課長 水嶋 介護保険課長 鈴木	電話	724-4048 724-4364
--------	---------------------------------	----	----------------------

件名	多摩都市モノレール延伸促進事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
51,224		0	0	0	0	51,224

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 425・426・442 ページ

町田市と多摩地域の他都市を結ぶ公共交通網は希薄な状況であり、密接であるべき多摩地域の自治体との連携を強化する必要があります。市内においては、鉄道駅は全て外縁部に位置しており、誰もが移動し易くするためには、新たな公共交通システムの構築が喫緊の課題となっています。

多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅への延伸は、これら町田市の課題を解決するだけでなく、多摩地域における交通ネットワークを格段に充実させ、地域全体の発展に大きく寄与します。

本延伸線は、国の諮問機関である運輸政策審議会(現称:交通政策審議会)による2000年の答申において、今後整備について検討すべき路線と位置づけられています。現在、同審議会でのこの位置づけの見直しを行っており、2015年度に新たな答申が出される予定です。

そこで、本延伸事業が、整備を実施すべき事業と位置づけがされるよう、取り組みを行います。

【事業の内容】

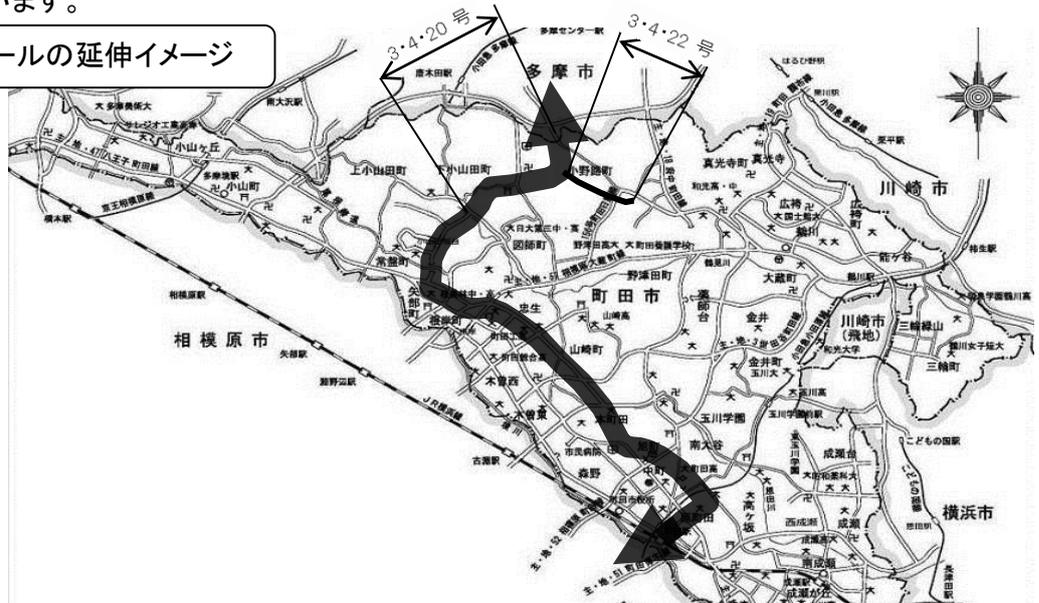
① 多摩都市モノレールの延伸

市内の公共交通網を充実するため、多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅への延伸を検討します。具体的には、需要予測や概算事業費の算出、事業採算性等の調査検討を行うとともに、方針を策定するため関係機関と調整を行います。

② 都市計画道路の整備

多摩都市モノレールの構想路線となっている(仮称)都計道 3・4・20 号線(下小山田)【多摩都市モノレール導入路線】、およびそれに接道するまでの区間となる都計道 3・4・22 号線(小野路)【大蔵小野路線】について、測量・設計等を行います。

多摩都市モノレールの延伸イメージ



【主な事業費】

- ①多摩都市モノレール延伸調査委託料 7,837 千円
- ②測量委託料 12,800 千円 設計委託料 16,350 千円

問い合わせ先	都市づくり部 交通事業推進課長 野田 建設部 道路整備課長 福田	電話	724-4260 724-1122
--------	-------------------------------------	----	----------------------

件名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000		0	0	0	0	10,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 442 ページ

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸は、首都圏西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

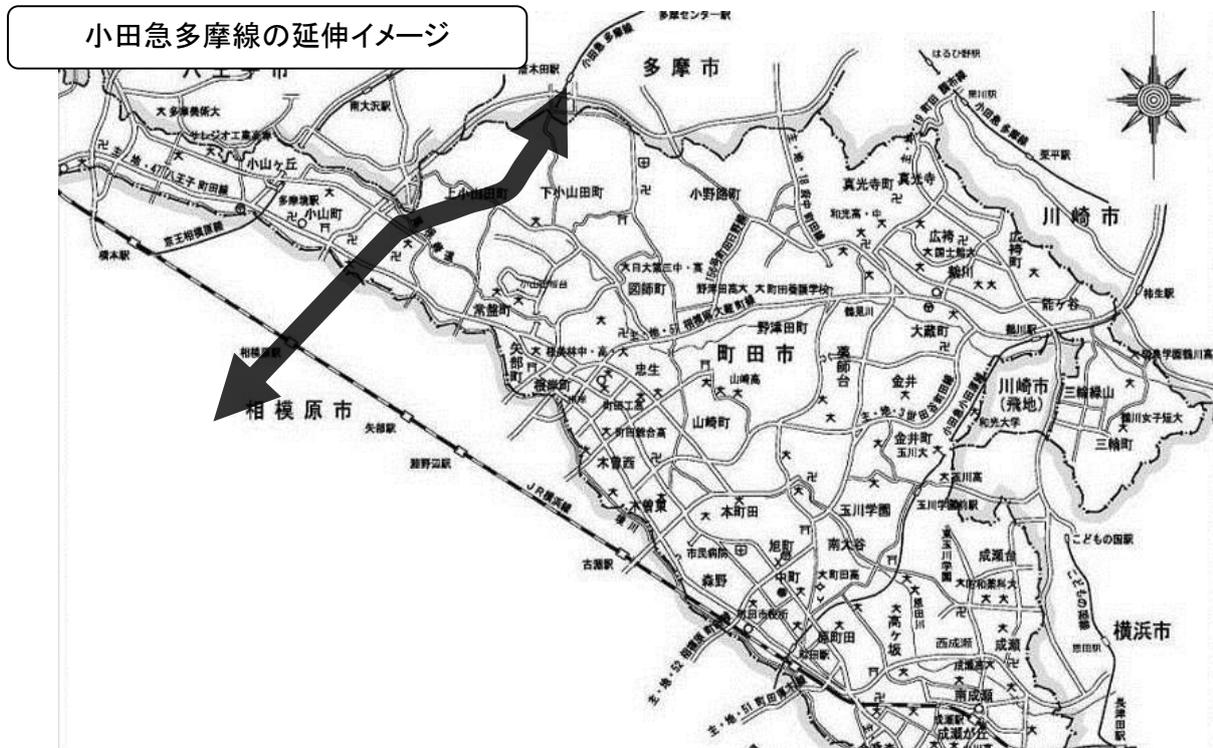
本延伸線は、国の諮問機関である運輸政策審議会(現称:交通政策審議会)による2000年の答申において、今後整備について検討すべき路線と位置づけられています。現在、同審議会でのこの位置づけの見直しを行っており、2015年度に新たな答申が出される予定です。

2014年5月には、町田市、相模原市の両市長間で、「小田急多摩線延伸の推進に関する覚書」を交わし、2027年までの延伸線開業を目指した取り組みを進めることについて合意しました。

そこで、本延伸事業が、整備を実施すべき事業と位置づけがされるよう、取り組みを行います。

【事業の内容】

市内の公共交通網を充実するため、小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸を検討します。具体的には、事業着手に向け、鉄道整備の施工方法、総事業費及び事業スケジュールなどの調査検討を行うとともに、方針を策定するため関係機関と調整を行います。



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 10,000千円

問い合わせ先	都市づくり部 交通事業推進課長 野田	電話	724-4260
--------	--------------------	----	----------

件名	小山田周辺まちづくり推進事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,400		0	0	0	0	5,400
【事業の背景・目的】				Ⅱ部・局別予算概要 437ページ		
<p>2014年5月26日、町田市と相模原市は、リニア中央新幹線の開業が予定されている2027年を目途に小田急多摩線延伸の実現を目指した取組を進めることに合意しました。</p> <p>小田急多摩線延伸に伴い小山田バス折り返し所付近に設置が想定されている新駅や、忠生579号線・忠生630号線等の周辺の新たな道路整備を踏まえ、魅力ある小山田周辺のまちづくりを進めています。</p> <p>2015年度は地元の方々の意見を伺いながらまちづくり構想を策定します。</p>						
【事業の内容】						
○小山田周辺まちづくり構想の策定						
<p>地元の方々の意見を伺いながら、道路・駅前広場・公園など、公共公益施設の配置検討を行い、まちづくり構想を策定します。</p>						
						
2015年度		2016年度		2017年度		2018年度
まちづくり構想策定		まちづくり整備方針検討		まちづくり整備方針策定		まちづくり整備計画策定
【事業費】						
小山田周辺まちづくり構想策定委託料				5,400千円		
問い合わせ先	都市づくり部 都市政策課長 池ノ内			電話	724-4248	

件名		町田薬師池公園四季彩の杜整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
862,356			210,000	227,000	209,500	29,277
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 445 ページ		
<p>町田薬師池公園四季彩の杜薬師池は町田市を代表する公園であり、その周辺にはリス園、ぼたん園、自由民権資料館、七国山緑地保全地域等の観光施設や歴史的資産、豊かな自然環境が存在します。そこで、薬師池とその周辺施設を、より多くの方々に活用していただくことを目的として、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定いたしました。薬師池周辺を一つの公園として捉え、多くの人々が四季を通して楽しめる公園となる様に、地域の有する豊かな自然環境、歴史・文化等を維持するとともに、個々の施設がより魅力を高め、回遊性や、情報発信力を強化することで、町田を代表する観光の拠点にします。</p>						
【事業の内容】						
○薬師池の水質浄化を図るため、かいぼり、底泥浚渫、水流発生および浄化装置の改良工事を行います。						
○「町田薬師池公園四季彩の杜」の西園と北園の用地について、合わせて約1.43haの購入を行います。						
	都市計画決定	事業認可	買収総面積	2015年度買収面積		
西園	2009年1月	2009年2月	8.1ha	0.56ha		
北園	2012年1月	2012年2月	6.7ha	0.87ha		
○今後の整備に向けて、西園は実施設計、北園は基本設計を行います。						
・事業規模 計画面積 8.6ha(西園)						
計画面積 6.9ha(北園)						
施設名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
薬師池(水質改善)	かいぼり・底泥浚渫 水流発生工事等					
西園	実施設計 用地買収	整備工事		→		
四季彩の杜ゲートハウス	用地買収(拡張用地)	基本・実施設計	整備工事	→		
北園	基本設計 用地買収	実施設計	整備工事	→		
【主な事業費】						
薬師池水質改善工事	150,000千円					
用地購入費	579,677千円					
物件補償料	79,100千円					
西園実施設計委託料	27,393千円					
北園基本設計委託料	10,604千円					
【主な特定財源】						
社会資本整備総合交付金(国)	210,000千円	都市計画公園整備費補助金(都)	210,000千円			
文化財保存事業費補助金(都)	17,000千円	都市計画事業債	209,500千円			
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 荻野			電話	724-4398	

件名	中心市街地整備事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
24,813		0	0	0	0	24,813

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 437・440 ページ

「まちだ未来づくりプラン」に掲げた「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」の実現に向けて、「交通結節点としてのターミナル機能の強化」、「新たな賑わいの創出」及び「誰もが快適に歩くことが出来るまちづくり」について検討を進めます。

2013年度に、地元の方々のご意見をいただきながら、まちづくりの指針として「中心市街地整備構想」を策定しました。この構想を実現するため、2014年度に、整備手法や取り組むべき事業、優先順位やスケジュール等を定める中心市街地整備計画の策定検討に着手しました。

【事業の内容】

○中心市街地整備計画の策定

中心市街地整備構想を実現するために、重点検討地区や歩行者ネットワークなどの具体的な整備手法を示した中心市街地全体の整備計画を策定します。

○重点検討地区の整備検討

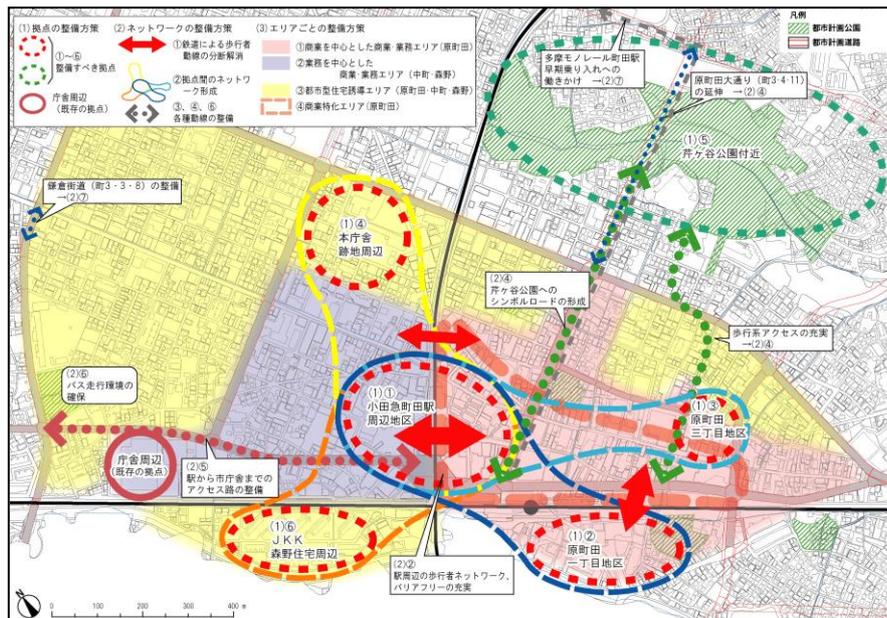
小田急町田駅周辺地区、原町田一丁目地区、原町田三丁目地区の整備内容を検討し、地権者等との協議を進め、事業化を促進します。

○中心市街地土地利用制度の導入

中心市街地整備構想の実現に向けて、2014年度の検討内容を踏まえて、関係する地権者等への意向確認を行うなど、地元と共に制度導入に向けた検討をさらに進めます。

【主な事業費】

- ・中心市街地整備計画策定委託料 19,400 千円
- ・中心市街地土地利用制度導入委託料 3,800 千円



出典：「町田市中心市街地整備構想」(2014年3月策定)

問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 望月 都市政策課長 池内	電話	724-4026 724-4248
--------	---------------------------------	----	----------------------

件名	芹ヶ谷公園整備事業・（仮称）国際工芸美術館整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
75,963		0	0	0	0	75,963

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 201・447 ページ

中心市街地に隣接する緑豊かな芹ヶ谷公園は、地域に住む方々はもちろん、買い物や仕事で町田駅を訪れた方々も気軽に立ち寄れる公園となっています。街中にありながらも、谷戸地形が静かな空間を創出し、湧水に恵まれた園内では四季折々の景観を楽しむことができます。また、園内には、世界でも珍しい版画を専門とする国際版画美術館があり、点在する彫刻とともに芸術を感じられる空間となっています。

現在進められている中心市街地整備事業と一体となって、芹ヶ谷公園と公園予定地及び（仮称）国際工芸美術館の整備を行うことで、「芸術の杜」と呼べる空間を演出し、「ヒト・モノ・文化が交流するまち」の公園として新たな賑わいを創出する場を目指します。

【事業の内容】

- ・芹ヶ谷公園整備は、今後の設計に向けて必要な測量と基本計画策定等を行います。
- ・（仮称）国際工芸美術館整備は、基本設計や自然環境調査等を行います。

項目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
①芹ヶ谷公園	■現況測量 ■基本計画 (素案)	■用地測量 ■基本計画	■基本設計 ■実施設計	■整備工事	■整備工事	■開園 ■台帳測量
②(仮称)国際工芸美術館	■基本計画	■基本設計 ■自然環境調査 ■地質調査	■実施設計 ■自然環境調査	■整備工事	■整備工事	■整備工事 ■開館

【主な事業費】

① 芹ヶ谷公園整備

芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会委員謝礼 844 千円
 芹ヶ谷公園再整備基本計画策定業務委託 8,400 千円
 芹ヶ谷公園測量業務委託 22,091 千円



<芹ヶ谷公園の様子>

②(仮称)国際工芸美術館整備

工芸美術館整備基本設計委託料 38,306 千円
 工芸美術館整備に伴う地質調査委託料 4,927 千円
 自然環境調査委託料 0 千円（2015～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 8,511 千円）

問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 萩野 文化スポーツ振興部 文化振興課長 唐澤	電話	724-4397 724-2184
--------	---	----	----------------------

件名		高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
11,472			5,506	2,753	0	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 550 ページ				
<p>高ヶ坂縄文時代遺跡は牢場・稲荷山・八幡平遺跡の3箇所からなる縄文時代の集落跡で、国内初の敷石住居跡発見(牢場遺跡)により、大正15年に国の史跡に指定されました。そのうち八幡平遺跡は史跡指定以来私有地でしたが、文化庁・東京都との協議の結果、史跡の保全・整備のために2010年度から公有地化を進めてきました。</p> <p>本事業によって同史跡3地点を遺跡公園として整備するとともに、芹ヶ谷公園再整備基本計画(案)を踏まえて芹ヶ谷公園内の八幡平遺跡隣接地にガイダンス施設を建設することで、「芹ヶ谷公園『芸術の杜』ふるさと縄文の風エリア」と位置づけ、地域の歴史を学び感じる場として来訪者に公開していきます。</p>						
						
八幡平遺跡(再調査時の空撮)		稲荷山遺跡(再調査時)		牢場遺跡(上屋の現況)		
【事業の内容】						
①遺跡公園整備に向けて、牢場遺跡の現況を把握するための再調査を行います。						
②牢場・稲荷山・八幡平遺跡公園の実施設計を行います。						
【事業スケジュール】						
整備対象	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
牢場遺跡公園	樹木伐採・再調査	遺跡上屋改修工事				
稲荷山遺跡公園	実施設計	公園整備	→		遺跡公園開園	
八幡平遺跡公園						
ガイダンス施設 (2019年4月開館予定)		基本設計	実施設計・施設建設	→ 展示内装工事		
【主な事業費】						
牢場遺跡再調査委託料	1,264千円					
史跡整備実施設計委託料	8,058千円					
【特定財源】						
国宝重要文化財等保存整備費補助金(国1/2)	5,506千円					
東京都文化財保存事業費補助金(都1/4)	2,753千円					
問い合わせ先		生涯学習部 生涯学習総務課長 神田		電話	724-2554	

高ヶ坂縄文時代遺跡案内図



件名		地域学校開放推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
72,529		11,880	0	42,100	0	18,549

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 207 ページ

学校の校庭や体育館等を市民開放する学校開放は、市民が身近で気軽にスポーツに親しむ、重要な場所となっています。そこで、更衣室やミーティングルーム、トイレ等で構成する施設(クラブハウス)を整備し、利用者の利便性を向上させることで、よりスポーツに親しめる環境を提供します。

2013 年度にクラブハウスを整備した武蔵岡中学校では、スポーツ教室の実施や地域のお祭り等で活用され、広く市民に利用されています。町田第四小学校では、団体活動後の懇親の場等として活用され、成人を中心にシャワーも利用されています。今後は、自主的な地域活動団体(地域スポーツクラブ)の設立を支援し、その活動の拠点となるクラブハウス整備を進め、更なるスポーツ人口増加につなげていきます。

【事業の内容】

地域スポーツクラブやスポーツ教室参加者の利便性向上を図るため、更衣室やミーティングルーム、トイレ等で構成するクラブハウスの整備を進めます。

利用対象者	学校開放利用団体及び地域住民
利用時間	学校開放利用時間及び学校開放利用の前後1時間程度

※地域スポーツクラブは学校開放運営委員会や利用団体を母体として設立し、普段活動しているメンバー、競技種目の枠を超えて、地域で楽しめるスポーツイベントやスポーツ教室等の実施運営を行います。

<事業の状況>

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度 2017 年度	合計
大戸エリア (武蔵岡中学校) 森野・中町エリア (町田第四小学校)	木曾・本町田エリア (教育センター)	2 エリア	5 エリア	10 エリア

【主な事業費】

クラブハウス設計委託料	3,060 千円
クラブハウス整備工事費	64,884 千円
クラブハウス整備工事監理委託料	3,336 千円



武蔵岡中学校クラブハウス

【特定財源】

学校施設環境改善交付金	11,880 千円
体育施設整備事業債	42,100 千円

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 能條	電話	724-4036
--------	-----------------------	----	----------

件名	にぎわい空間創出推進事業（町田シバヒロ）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
63,883		0	0	0	0	63,883
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 360 ページ		
<p>町田シバヒロは、「新たな賑わいの創出」を実現するため、2014 年度に芝生の広場としてオープンしました。この広場では、オープニングイベントの他、オクトーバーフェスト、クリスマスイベントなどのイベントを開催し、多くの賑わいを生み出しています。</p> <p>2015 年度についても、シバヒロアニバーサリーイベントをはじめ、オクトーバーフェスト、ラーメン祭、クリスマスイベントなど、多くの集客イベントを開催します。</p>						
【事業の内容】						
○中心市街地の活性化を目的とした、賑わいを創出する各種イベントを実施します。						
○施設改修により、イベント広場としての機能を強化していきます。						
○広場を管理、運営する町田市観光コンベンション協会に対し、一部補助を行い、事業の推進を図ります。						
＜主なイベントスケジュール＞						
時期		主なイベント				
5月上旬		シバヒロアニバーサリーイベント				
6～7月（毎週末）		ビアガーデン				
9月中旬		どんぶり選手権				
10月上旬		オクトーバーフェスト				
10月下旬		スイーツ・パン フェス				
11月中旬		ラーメン祭				
11月下旬～12月		クリスマスイベント				
3月中旬		子ども向けイベント				
						
＜2014 年 5 月 3 日オープニングイベントの様子＞			＜クリスマスイベントポスター＞			
【主な事業費】						
にぎわい空間創出推進事業補助金		21,000 千円				
イベント企画運営委託料		19,750 千円				
施設改修工事費		10,985 千円				
問い合わせ先	経済観光部 産業観光課 中心市街地活性化推進担当課長 杉本			電話	724-3296	

件名	文化芸術ホール整備事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,989		0	0	0	0	4,989

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 202 ページ

町田駅周辺地域の賑わいを充実させることで、まちの魅力をより一層高めていくことが今後のまちづくりの大きな課題になっています。そこで、まちだ未来づくりプロジェクトにおける「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」に基づき、音楽や演劇等多様な用途に対応できる文化芸術ホールについての検討を進めます。

【事業の内容】

2014 年度に開催した「文化芸術によるまちづくり座談会」における議論を受け、2015 年度は文化芸術ホールの構想策定に着手します。基本構想策定に先立ち、近隣における文化芸術ホールの施設規模、事業内容等について市場調査を行います。また、基本構想検討委員会を2回開催します。

<(仮称)文化芸術ホール基本構想検討委員会>

構成員	下記分野の学識経験者5名程度 都市計画、アートマネジメント、建築、興行、ホール経営等 上記のほか、市民団体、文化芸術系団体、経済系団体等
実施回数	全7回 2015年度2回 2016年度5回

<スケジュール>

2015年度	2016年度	2017年度
・市場調査 ・基本構想策定	→	・基本計画策定

【主な事業費】

基本構想策定委託料(市場調査費含む) 4,535千円
 (2015~2016年度債務負担行為事業 総事業費 13,283千円)
 基本構想検討会委員謝礼 352千円



問い合わせ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 唐澤	電話	724-2184
--------	---------------------	----	----------

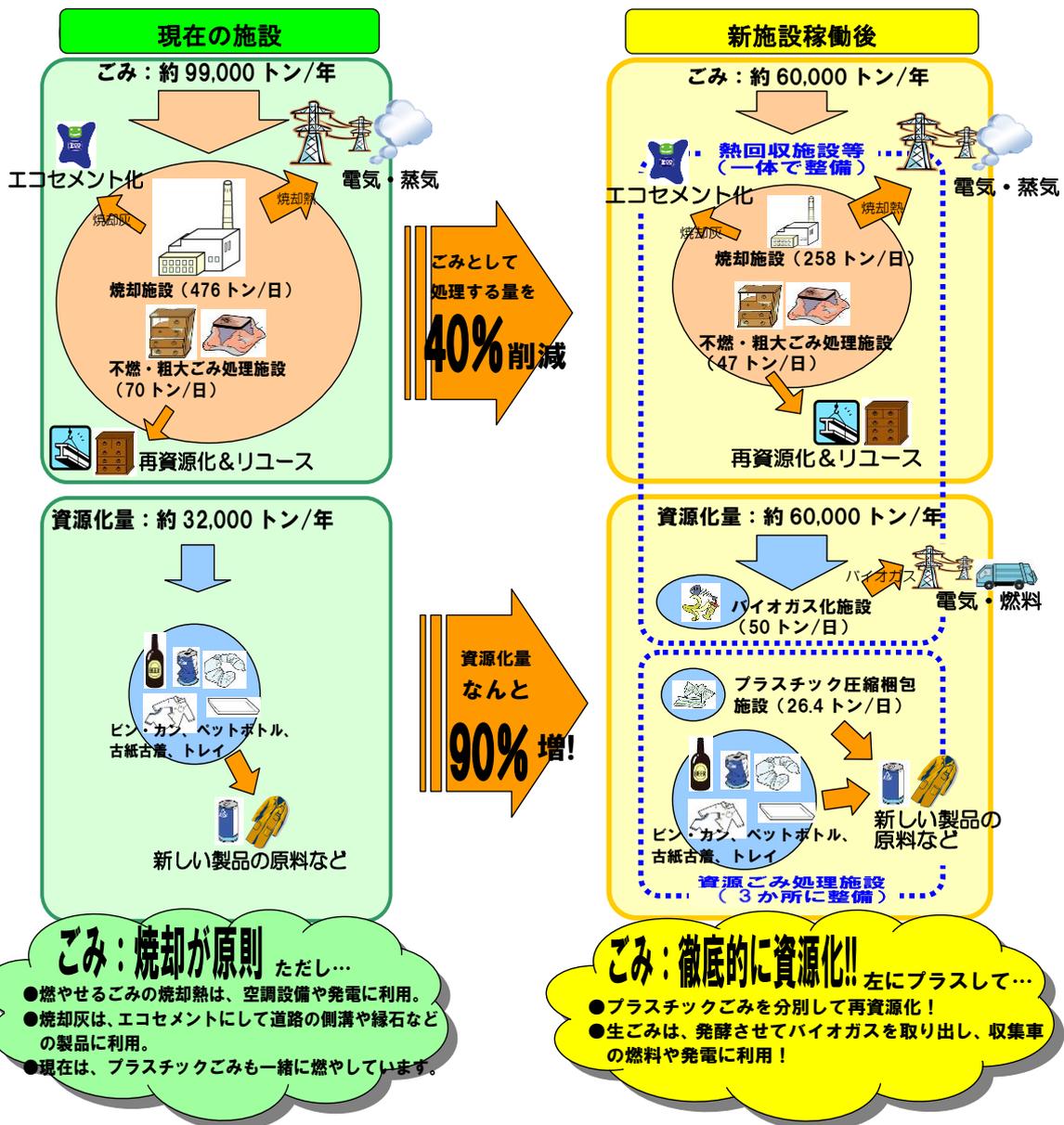
件名		循環型施設整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
459,438		135,856	17,000	182,100	2,922	121,560
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 380 ページ		
<p>町田市では、ごみとして処理する量を 40%削減することを全体目標としています。そのため、生ごみ処理機で 3 千トン堆肥化するとともに、新たなごみの資源化施設の整備を進めています。これにより「燃やせるごみ」のうち生ごみ 1 万 9 千トンをバイオガス化、「プラスチックごみ」は容器包装リサイクル法に基づく資源化を行い、ごみを減量し、資源化率を積極的に向上させることを目指しています。</p> <p>新たなごみの資源化施設のうち、熱回収施設等は町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設は市内 3 箇所に分散して整備します。</p>						
【事業の内容】						
<p>2015 年度は、リレーセンターみなみのプラスチック圧縮梱包設備増設工事や、環境影響評価関係の調査及び手続き等を中心に行います。リレーセンターみなみは 2015 年度中に工事を完了させ、2016 年度から稼働を開始します。</p> <p>また、各施設建設地の周辺住民代表で構成する「ごみの資源化施設地区連絡会」において、施設の整備・管理運営に関する地域要望を踏まえた施設づくりを進めます。</p>						
【整備する施設の概要】						
○熱回収施設等 町田リサイクル文化センター敷地内(下小山田町 3160 番地)						
《施設概要》						
<p>焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設を 1 箇所に一体整備します。</p> <p>ごみとして処理する量を 40%削減することを全体目標としているため、焼却施設は現施設(476t/日)の約 6 割の施設規模とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設 258t/日(2 炉×129t/日)ストーカ炉 高効率発電(17%以上) 排ガスの処理には最新の技術を導入します。 ・バイオガス化施設 50t/日 機械選別、高温・乾式 生ごみを資源化し、発酵残渣は焼却施設の補助燃料とします。 ・不燃・粗大ごみ処理施設 47t/日 						
○資源ごみ処理施設						
<p>①相原エリア(相原町・詳細な場所を調整中)</p> <p>②上小山田エリア(上小山田町・詳細な場所を調整中)</p> <p>③リレーセンターみなみ(鶴間 467 番地 5)</p>						
【分散配置の考え方】						
<p>① 収集車の台数や移動距離を削減し環境への負荷軽減が図れること</p> <p>② 施設の代替性と補完性を備えられること</p> <p>③ 地域住民のごみの資源化に関する意識の向上を促す拠点等とすること。</p> <p>上記の理由から、既存施設の「リレーセンターみなみ」を含め、市内 3 箇所に分散化し整備します。</p>						

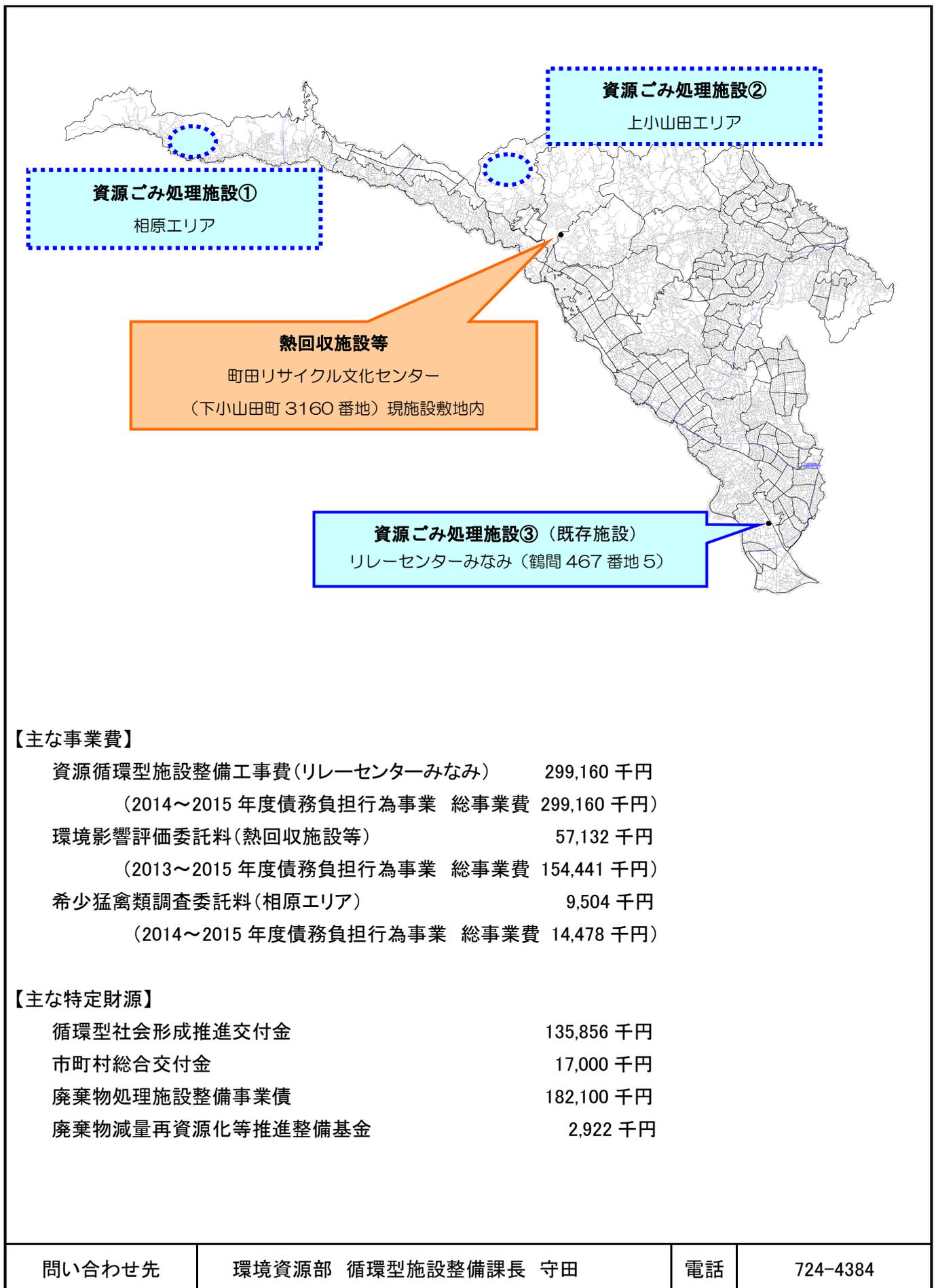
《施設概要(3箇所合計)》

- ・プラスチック圧縮梱包施設 26.4t/日[リレーセンターみなみ(約5t/日)を含む。]
- ・カン選別処理施設 6.4t/日
- ・ビン選別処理施設 18.8t/日
- ・ペットボトル圧縮梱包施設 5.8t/日
- ・トレイ・紙パック貯留場所
- ・有害ごみ(乾電池・蛍光灯等)貯留場所
- ・製品プラスチック貯留場所
- ・使用済小型電子機器等貯留場所

※既存施設である「リレーセンターみなみ」には、プラスチック圧縮梱包施設のみを追加整備します。

こんなに変わる、ごみの資源化！





件名		都市計画道路整備事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,139,815		168,850	160,175	400,000	258,219	152,571



(都市計画道路の整備)
 円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

(駅前広場の整備)
 地域の交通拠点としての機能向上を図るため、南町田駅・相原駅の駅前広場の整備を進めます。

重点事業名	箇所番号	個別事業名	事業費(千円)	備考
都市計画道路の整備	①	都計道3・4・37(鶴間) 【鶴間公園通り】	244,153	国道16号、南町田駅へのアクセス道路、2016年度供用開始予定
	②	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北通り】	57,555	相模原市へのアクセス道路 2019年度供用開始予定
	③	都計道3・4・34(金森) 【金森住宅通り】	183,856	町田街道から藤沢街道へのアクセス道路 2019年度供用開始予定
	④	都計道3・4・34(南大谷) 【環状1号線小田急立体交差】	6,230	町田駅・中心市街地を迂回し、市の南北を結ぶ環状線
	⑤	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	16,437	小野神社出入り口から北西に向かい、(仮称)都計道3・4・20号線に接道するまでの区間
	⑥	(仮称)都計道3・4・20(下小山田) 【多摩都市モノレール導入路線】	26,920	町田市と多摩市の区域境から、小山田桜台方面に向かう都市計画道路の整備
都道整備の協力	⑦	都計道3・4・38(木曾東) 【町田街道】	258,219	都との協働事業 2020年度供用開始予定
駅前広場の整備	⑧	相原駅西口広場	346,445	2016年度供用開始予定

【主な特定財源】

社会資本整備総合交付金(国)	168,850 千円
都市計画費補助金(都)	90,075 千円
街路整備事業債	400,000 千円
東京都受託収入	258,219 千円



問い合わせ先	建設部 道路整備課長 福田	電話	724-1122
--------	---------------	----	----------

件名	南町田駅周辺地区拠点整備事業・南町田駅南北自由通路整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
99,763		0	0	0	0	99,763

○南町田駅周辺地区拠点整備事業

Ⅱ 部・局別予算概要 412・437 ページ

【事業の背景・目的】

南町田駅周辺地区は、都市計画マスタープランにおいて、にぎわいと交流の拠点として、「副次核」に位置づけています。また、駅周辺では、国道16号町田立体事業、北口駅前広場及び地下通路の整備が進むなど、大幅な交通環境の改善が図られてきています。

町田市では、副次核のさらなる魅力と利便性の向上に取り組むため、地元町内会・自治会、東京急行電鉄株式会社とともに、『南町田駅周辺地区拠点整備基本方針』の策定に向けた検討を進めています。本方針で示す地区の将来像実現に向け、事業者、地元と協働した取組を進めていきます。



〈凡例〉 …… : 歩行者ネットワーク

駅南側のまちづくり方針図

【事業の内容】

○拠点整備実施計画事業

- ・方針に基づき、拠点整備に向けた実施計画の策定や都市計画の決定及び変更等の手続きを進めます。

○土地区画整理事業計画の策定（2015～2016年度）

- ・鶴間公園、商業モール用地、鶴間第二スポーツ広場を中心に、公共施設の再配置と土地の利用増進等を図るため、土地区画整理事業計画を策定します。

○鶴間公園官民連携整備運営事業

- ・鶴間公園について、民間のノウハウを活用した魅力的な公園づくりをめざし、公園の再整備及び運営への官民連携手法の導入を進めます。

【主な事業費】

南町田駅周辺地区拠点整備実施計画策定事業負担金	7,200 千円
南町田駅周辺地区土地区画整理事業計画策定負担金	14,700 千円
（2015～2016年度債務負担行為事業 総事業費）	46,224 千円）
鶴間公園官民連携整備運営手法導入支援委託料	12,800 千円

○南町田駅南北自由通路整備事業

【事業の背景・目的】

南町田駅周辺の交通利便性を向上させるため、駅の北側地域と南側地域を結ぶ自由通路を整備します。

【事業の内容】

2015年度は、自由通路の基本的な構造や駅施設改良方法を検討するため、基本設計を行います。また、2015年度から2016年度にかけて、基本設計の成果に基づき自由通路や改良する駅施設の詳細な構造を決定するため、詳細設計を実施します。

【主な事業費】

南町田駅南北自由通路設計負担金 64,128 千円
 (2015～2016年度債務負担行為事業 総事業費 101,925 千円)

【スケジュール】

事業名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
南町田駅周辺地区 拠点整備事業	拠点整備実施 計画策定 公園等都市計 画変更 土地区画整理 事業計画策定	地区計画等都市 計画決定	整備工事			オープン
南町田駅南北自由 通路整備事業	基本設計 詳細設計	詳細設計 設計検証	整備工事			利用開始



公園イメージ(樹林ゾーン)

問い合わせ先	都市づくり部 都市政策課長 池ノ内	電話	724-4248
	建設部 建設総務課長 藤谷		724-1124

件名	忠生 579 号線・忠生 630 号線新設改良事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
751,587		0	349,300	271,000	0	131,287

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 407 ページ

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

【事業の内容】

○忠生 579 号線

北部丘陵地域である小山田地区の地域生活環境の向上を図るとともに、地域まちづくりのための骨格道路を整備することにより交通の円滑化を図ります。

○忠生 630 号線

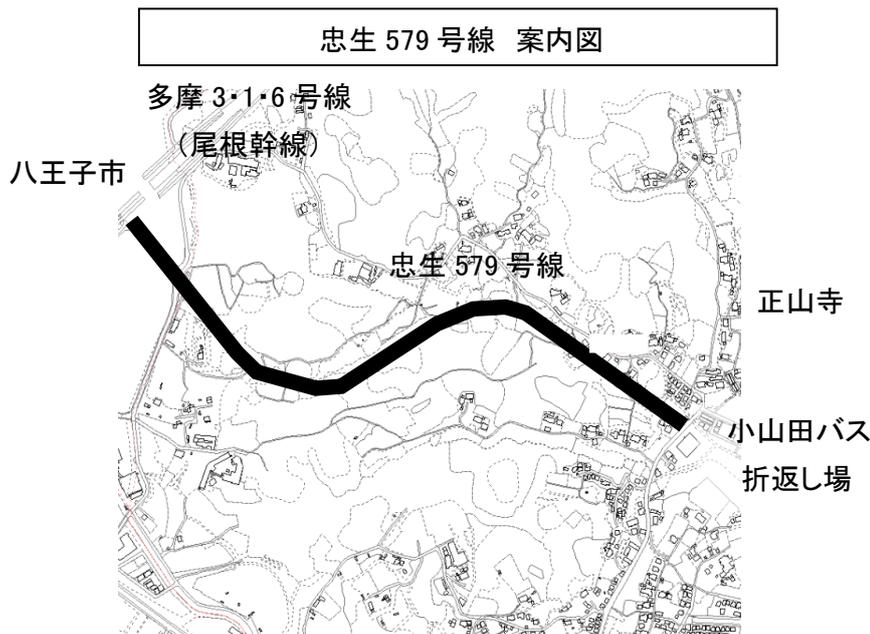
多摩市と町田市を結ぶ路線です。町田市側都道の整備が進む中、周辺の土地利用により宅地化が進み交通量が増加しているため、本路線の整備により交通の円滑化を図ります。

【主な事業費】

物件調査委託料	23,887 千円
用地購入費	335,400 千円
物件補償料	353,455 千円

【特定財源】

道路橋梁費補助	302,400 千円
市町村総合交付金	46,900 千円
道路整備事業債	271,000 千円



問い合わせ先	建設部 道路整備課長 福田	電話	724-1122
--------	---------------	----	----------

件名		多摩境駅周辺エレベーター設置事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,000			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 412 ページ		
<p>京王相模原線多摩境駅周辺地区においては、2013年度にバリアフリー基本構想を策定し、エレベーター設置を整備事業として位置づけました。</p> <p>この基本構想に基づき、高齢者や障がい者、子どもを初めとして、誰もが円滑に多摩境駅周辺を移動できるよう、駅前広場にエレベーターを設置します。</p>						
【事業の内容】						
2015年度は交通量調査と詳細設計を実施します。						
2015年度		2016年度		2017年度		
詳細設計 (交通量調査含む)		設置工事		利用開始		
						
【事業費】						
詳細設計委託料(交通量調査含む) 9,000千円						
問い合わせ先	建設部 建設総務課長 藤谷			電話	724-1124	

件名	社会保障・税番号制度事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
358,527		200,173	0	0	0	158,354

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 128・184 ページ

市民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現するための社会基盤となる、社会保障・税番号制度を実施します。具体的なメリットは以下のとおりです。

○市民の利便性の向上

添付書類の削減など、手続きの負担を軽減し、利便性の向上を図ります。

（例）児童手当の現況届や、年金の裁定請求などの際に証明書の添付が不要になる

○行政の効率化

地方公共団体等の行政機関で情報の連携が行われることにより、情報の照合、転記、入力などに今まで要していた時間や労力等が、大幅に削減されます。

（例）手当等の受給判定のために、市区町村間で行っている情報収集の作業が不要になる

○公平・公正な社会の実現

所得や給付を正確に把握できるようになり、より公平・公正な行政サービスを提供することができます。

個人番号・個人番号カード関連事業

【事業の内容】

2015 年度事業スケジュール

月	9 月	10 月	1 月以降
内容	・個人番号制度に関するお問い合わせ専用コールセンターを設置します	・J-LIS*が個人番号を付番して、全国民宛に通知カードを送付します ・個人番号カードの交付を希望する市民の方は、通知カードが届いた後、J-LIS に発行を申請します	・市民課が、個人番号カードを申請した方に、カード完成のお知らせを送付します ・市民課の窓口にて、個人番号カードを交付します →ご希望の方は、交付と同時に証明書のコンビニ交付関連手続きも行うことができます

※J-LIS：地方公共団体情報システム機構の略称。住民基本台帳ネットワークシステム、総合行政ネットワークなどを運営しており、町田市は個人番号の付番、通知カードの作成・発送・個人番号カードの作成事業を委任しています。

【主な事業費】

コールセンター設置 9,936 千円

個人番号通知作成・送付業務、個人番号カード申請受付業務等交付金（J-LIS） 147,073 千円

【特定財源】

個人番号カード交付事業費補助金 147,073 千円

個人番号・税番号制度システム改修事業**【事業の内容】**

- ・個人番号を業務で利用できるようにするため、住民記録システム・税務システム等の改修を行います。
- ・J-LIS が整備した、国や自治体との情報連携を行うための中間サーバーを導入します。
- ・個人のプライバシー等の権利利益を保護し、どのような措置を講じているかを具体的に説明するため、特定個人情報保護評価書を作成・公表します。

<システム導入スケジュール>

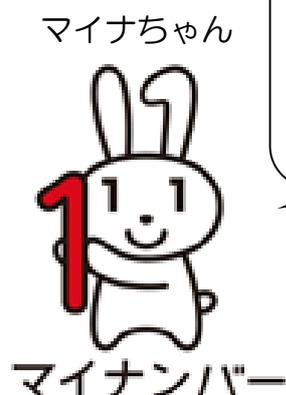
年度	2014	2015	2016	2017
予算額	54,000 千円	201,236 千円	-	-
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民記録システム、税務システム等の設計・構築 ・特定個人情報保護評価書の作成・公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民記録システム、税務システム等の構築・試験 ・中間サーバーの導入 ・福祉システム等の設計・構築・試験 ・内部管理システムの設計・構築・試験 ・特定個人情報保護評価書の作成・公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の機関間での情報連携開始(1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体等との情報連携開始(7月)

【主な事業費】

システム改修費用 187,150 千円
 中間サーバー導入費用 14,086 千円

【特定財源】

社会保障・税番号制度システム整備費補助金 53,100 千円



マイナちゃんはマイナンバー制度を普及啓発するためのロゴマークです！

問い合わせ先

市民部 市民課長 中島
 総務部 情報システム課長 中田

電話

724-4225
 724-4432

件名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6,889		0	0	0	0	6,889

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 440 ページ

町田市は、鶴川駅南口の市街地整備について、2011年7月から地権者の方々と協働による検討を進めてきました。2013年度は、「街づくりビジョン」が策定され、2014年度は「街づくりビジョン」を踏まえ、道路計画の基本的な考え方がまとまりました。

本事業により、南口については、駅前広場を新たに設けるなど市街地整備を進め、交通や生活利便の増進、土地の有効活用を図ります。また、北口駅前広場の拡充や駅施設の改良などを小田急電鉄と共に進めることにより、駅を中心とした街の新たな顔づくりと、副次核としてのさらなる魅力づくりを進めます。

【事業の内容】

<南口>

地区を東西2つのエリアに分け、それぞれの地区特性に応じた市街地整備案と実現化方策(整備手法等)を地権者と共に取りまとめます。また、川崎市とは、駅アクセス道路の事業手法や法定手続きなどの協議を進めます。

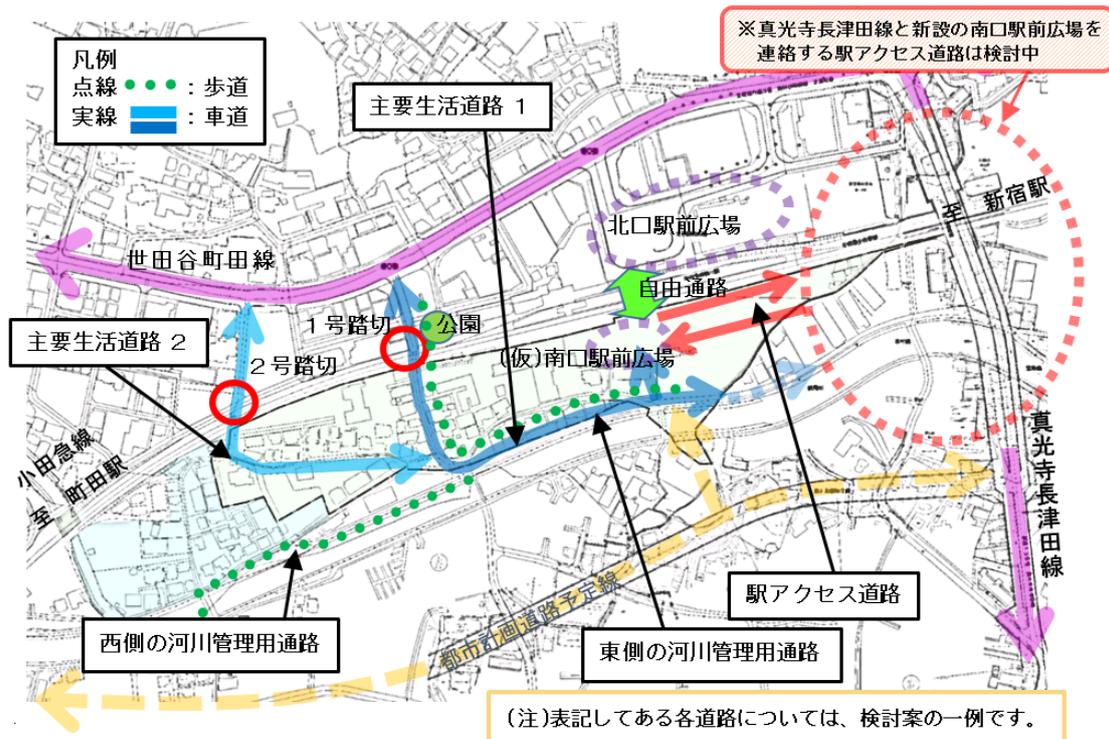
<北口>

駅周辺整備について、小田急電鉄と基本合意の後、整備方針を取りまとめます。

【主な事業費】

鶴川駅周辺街づくり検討委託料 6,700千円

《道路計画の基本的な考え方》



問い合わせ先

都市づくり部 地区街づくり課長 望月

電話

724-4266

件名		団地再生推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,801			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 449 ページ		
<p>市内にはUR都市機構と東京都住宅供給公社が建設し供給した 22,000 戸以上の団地があります。その供給戸数は東京都市部で最も多く、町田市人口の約 10%、およそ 40,000 人が居住しています。</p> <p>これらの団地の多くが 1960～70 年代に建設され老朽化も進み、また現在の居住ニーズに合わず、住居としての魅力が低下しており、周辺地域を含めたまちづくりの課題となっています。</p> <p>そこで、「まちだ未来づくりプラン」における「未来づくりプロジェクト」の一つとして、団地の魅力の向上に取り組み、団地を中心とするまちの活性化を目指すため「団地再生に向けたプロジェクト」を開始し、大規模団地の再生のための検討を行い、2013 年 3 月に団地再生基本方針を策定しました。</p> <p>基本方針で示された課題に対応し、住宅都市としての町田市の魅力向上を図るため、居住者及び地域周辺住民と、団地を含めた周辺地域の特性や魅力を確認し、当該団地の特性に応じた「団地再生」について検討し、団地を中心とするまちの活性化を目指します。</p>						
【事業の内容】						
○鶴川団地の団地再生に向けた地域検討会の運営(2013～2015 年度)						
<p>鶴川団地において、学識経験者、団地居住者、団地周辺地域の居住者、商店会、UR都市機構による「地域検討会」を設置し、自分たちの暮らすまちの活性化について検討しています。検討会の運営支援(居住者及び地域周辺住民へのアンケート調査・ワークショップ等を実施)を行いながら、再生に向けた具体的なアクションプランを実施し、鶴川団地における再生方針を策定します。</p>						
○鶴川団地における団地再生のスケジュール						
2013 年度		2014 年度		2015 年度		2016 年度以降
・課題の検討 ・アクションプランの検討		・アクションプランの精査 ・地域活性化の担い手発掘		・団地再生方針の策定		・活性化に向けた事業の展開
【主な事業費】						
団地再生方針策定支援委託料 9,622 千円						
問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 市村			電話	724-4269	

件名	北部丘陵整備事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
45,752			0	0	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 356 ページ

町田市北部丘陵活性化計画に基づき、「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山」の実現に向けて、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。

2015年度は、地域の農業環境や市有農地の利用促進を図るための整備工事や里山環境の維持保全整備等を実施します。また、貴重な里山環境を将来へ引き継いでいく持続的な取組みとしていくために、里山環境維持保全実施計画を作成します。

【事業の内容】

農道整備工事

地域の営農環境向上を図るため、農道(2路線)整備工事を実施します。

- 事業箇所：①上小山田町字十七号 ②上小山田町字七号
- 事業規模：①L=380m(W=1.8m) ②L=165m(W=1.8m)

維持保全整備

里山環境の維持保全を図るため、草刈、竹伐採等の維持・保全整備を実施します。

- 事業箇所：①小野路町奈良ばい谷戸 ②上小山田町鶴見川源流保水の森
- 対象面積：①1.5ha ②3.6ha

里山環境維持保全実施計画作成

市民協働によりモデル的に進めてきた維持保全の取組みでの問題・課題を踏まえ、将来像、管理手法、事業費、工程計画等を定める維持保全実施計画を作成します。

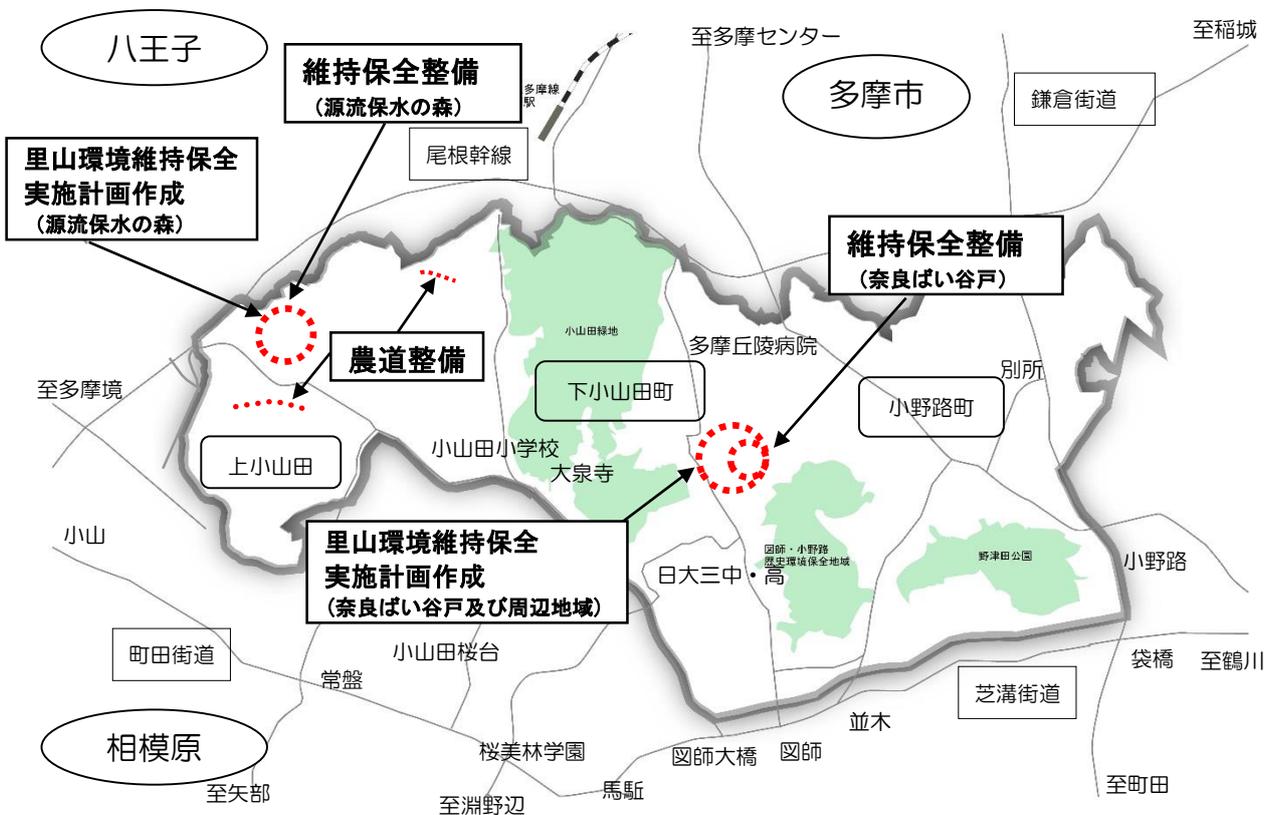
- 事業箇所：①小野路町奈良ばい谷戸周辺 ②上小山田町鶴見川源流保水の森
- 対象面積：①約36ha ②約37ha

【主な事業費】

農道整備工事費	13,206千円
源流域・奈良ばい維持保全整備委託料	12,600千円
里山環境維持保全実施計画作成委託料	5,850千円

<2015 年度主な整備事業内容>

北部丘陵整備事業 位置図



問い合わせ先

経済観光部 北部丘陵整備課長 永野

電話

724-2164